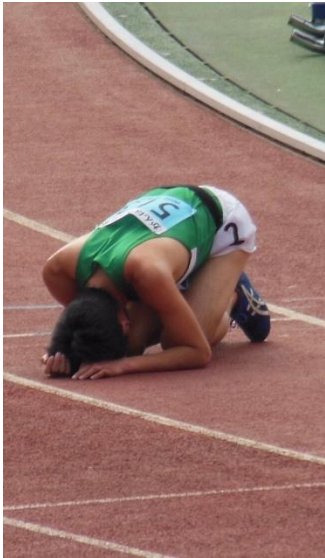




PERSPIRATION



目次

I. 2017 年度シーズンを振り返って	3
II. 2017 年度活動報告	7
i) 大会後記	8
関東インカレ／千葉対校／関東甲信越／日本インカレ／国公立 26 大学対校／ 関東大学女子駅伝／北関東五大学対校／箱根予選会／三浜駅伝／荒川駅伝／ 国公立 26 大学対校駅伝／勝田全国マラソン	
ii) その他の主な競技会の結果	21
茨城県選手権／その他	
iii) その他の活動	22
協力審判員／宇都宮大学・千葉大学・群馬大学・高崎経済大学合同合宿	
III. 2018 年度シーズンの抱負	23
IV. 2018 年度活動予定	25
V. 引退される先輩より	26
VI. OB/OG 近況報告・現役部員へのメッセージ	33
VII. 記録集	44
茨城大学記録・男子／茨城大学記録・女子／2017 年度ランキング／対校戦順位一覧	
VIII. 部員名簿	49
編集後記・連絡先	50

I. 2017 年度シーズンを振り返って

主将反省

前主将 川嶋康祐

昨年度の北関東五大学対校戦を機に4年次の小野から引き継ぎ、1年間茨大陸上部の主将を務めました。1年を振り返ってみますと、現2年生の部活動停止から始まり、非常に大変なスタートであったと思います。しかし何度も話し合いを重ねた結果の2年生の成長、スタッフが協力しあい合宿を成功させたこと、今でも鮮明に記憶しており私の財産になったと心得ております。

さて本年度の陸上部ですが、関東インカレの出場者を多数出し、国公立26大学対校戦で男女の目標を達成することをチームの目標とし、ギアチェンジというスローガンの下活動をして参りました。私自身決して競技力が高い選手ではなかったため、毎回の集合やミーティングでどれだけ部員たちにモチベーションの上がる言葉をかけ、全力で陸上に取り組めるムードを作るかを考えていました。皆さんに私の想い、言葉が届いたかはわかりませんが、部員の中から、川嶋が主将で良かったとの声が多数聞けたことで、私は安心しております。

各試合を振り返ってみますと、自己ベスト更新や標準を突破する選手が多くいる一方で、対校戦で勝ちきれなかった悔しさもありました。しかし千葉対校の主催を機にチームとしてまとまり始め、そのあとの対校戦に望めたことは主将として本当に楽しく有意義な時間であったと思っています。私が主将としてできたことなど、たかがしれておりますがこの1年間は私の誇りです。

主務反省

前主務 本吉広武

去年の北関東五大学対校戦で前主務の後藤から引き継ぎ、一年間主務として携わってきました。

主務の主な業務は学生生活課や関東学連などとの連絡や対校戦のエントリー、千葉対校の主催など様々な業務がありました。業務を進めていく上で日常的に行われる連絡、相談、報告のサイクルが大切です。これがおろそかになってしまうとチームの運営に支障が出てしまいます。このことをまずはしっかりと習慣化できるように心がけました。

主務として一番大きな仕事は千葉大学茨城大学対校陸上競技大会の主催でした。学連への公認競技会の申請から始まり、競技場の幹旋や審判員の要請、エントリーの取りまとめやプログラム作成、そして、当日の記録情報処理など多岐にわたって業務を遂行してきました。一つの大会を開催するのに、長い時間とたくさんの人の協力があって成り立っているのだと実感しました。また、早く審判の仕事を引き受けてくださる陸協、OB・OGの方々、補助員をしてくれる高校生たちに感謝するとともに、地域との交流やOB・OGの方々との繋がり改めて感じました。そのため、競技者として感謝の気持ちをもって競技に臨むことが出来るようになり、人間としても成長することが出来ました。また、来年度は北関東五大学対校戦の主催を控えていますので、今年一年間で学んだことを後輩たちに繋げていきたいと思っております。

こうして振り返ると、あっという間に一年が過ぎました。それは、この一年間がとても充実したものだったからだと思います。この一年、チームを良くするにはと、スタッフで悩み、励まし合い、話し合いを重ねてきた日々はかけがえのないものです。私一人では出来ないことでも、みんなで支え合いながらやれば、必ず出来ると実感した一年でした。そして、来年度は茨城大学陸上競技部の名を背負って走れる最後の年です。さらに成長した姿をお見せできるよう、精進します。

短距離ブロックの反省

前短距離ブロック長 立林和歩

今年度の短距離ブロックは、男子は4継40"80、マイルは3'16"00、女子はマイルの全カレ出場を目標に掲げて活動してきた。これらの目標はどれも達成することは叶わなかった。また、個人としても目標を達成できた人が少なかった印象である。シーズンを総括すると、個人の力を伸ばせた人ばかりではなかったように感じる。

反省として大きく挙げられるのは、関東インカレの個人出場が少ない点である。また、特に男子であるが、対校戦の得点源としてかなり乏しいという現状を打破できなかった点である。関甲信では男子トラックが3位以内に入れず、26大では男子短距離で7点のみであった。26大では男子が両りレーで決勝に残れなかった点も非常に悔いが残る。26大で入賞するために、個人種目で関東インカレの標準を切るということを目安に目標を定めていきたい。しかし、関東インカレの標準切りを手段にはしないことが大切である。あくまで1つのステップとして位置付けたい。

ブロック長としては、ミーティングを昨年より多く、丁寧に行うことを念頭におき、メニュー決めや対校戦の目標、反省を通して、個々の意思疎通などがうまくいくようにと工夫した。目的意識など、より具体的にできたことが多くなったことは良かったと思う。しかし、練習中のコミュニケーション、例を挙げるなら、他の人の動きを見てアドバイスをするといったような場面は多くなく、競技に結びつくようなコミュニケーションを活発にすることができていればさらに良かったと感じる。今季は練習メニューが男女で異なっていたため、3年次の小林に女子を引っ張っていくことを任せていたことなど、3年生を中心に、多くの人たちの支えのおかげでやり切ることができたことを感謝したいと思う。

中長男子ブロックの反省

前中長男子ブロック長 田村元

昨年10月に前ブロック長の小野から引き継ぎ、今年度中長男子ブロックは1年次に新たに7人を迎え、18人で活動してきました。

シーズンを通しての反省です。就任時に掲げたトラックでしっかり戦えるブロックにしていくという点については、もう少しだったように感じました。これまでの練習と違ってハードルジャンプなどのプライオメトリクスや600mなどスピードに必要なメニューを組み込んで進めました。それにより自己ベストが出た人もいて全体的に昨年よりスピードはつきましたが、対校戦で勝負できる選手を多くは出せなかったのが反省点です。また、もう一つ掲げた4年次小野に続くエースを出すという点については達成できませんでした。怪我人が続き、夏場のポイント練習をこなせる人が少なく、国公立26大学対校戦まで上げきれませんでした。そこは自分の力不足が大きかったです。

良かった点としてはなんと言っても関東インカレ3000mSCで4年次小野が茨大新で決勝に残ったことです。関東インカレ2部といえども箱根駅伝に出場する選手が多い中でこれは快挙でした。また、国公立26大学対校戦で自己ベストを連発してチームに勢いを与えられたこと。箱根駅伝予選会に2年連続で出場し、1・2年生が多い中で昨年度の記録を更新できたことは良かったです。

10月から2年次齊藤がブロック長に就任しました。既に新しい取り組みをしていて、陸上について勉強熱心なので頼もしいです。私自身は1年生でブロック長ということで力不足な面が多かったです。この1年の経験をしっかり2年次齊藤に伝えます。

中長女子ブロックの反省

前中長女子ブロック長 金子美鈴

昨年までは中長ブロックの中で男子と女子に分かれて練習をしていましたが、今年の中長女子というひとつのブロックを確立して、日々活動してきました。ブロックの人数が減ったことでより1人1人に目を向けることができましたと思います。

今シーズンの中長女子の反省として挙げられるのは、自己ベストを出した人が7人中2人と、かなり少なかったことです。冬期に練習を積んだのに、そこからうまく試合モードに移行することができず、春先に記録を出すことができませんでした。前半の対校戦ではチームの足を引っ張ることになってしまったので、来シーズンはこの反省を生かし、繰り返すことのないようにします。大きな怪我人を出さずに、切磋琢磨して練習ができたことはよかったですと思います。私自身はブロック長であったにも関わらず、怪我に苦しみ、自分が立てたメニューができない日が多くあり正直、不完全燃焼です。今後最上級生になるにあたり下級生をサポートすることはもちろんですが、私自身がよりよいブロックを作っていく気持ちで、日々練習に取り組んでいこうと思います。

跳躍ブロックの反省

前跳躍ブロック長 大貫将人

今年度は1年生を2人加え総勢11名で活動してきました。(シーズン終了後1年生1人加入)

私は抱負に良い意味で目立つブロックにすると書きました。良い意味で目立つというのは考え方によって様々ですが、私は全ブロックの中で1番勢いがあることだと思ってきました。そう考えるとシーズン序盤は3人が立て続けに関カレ標準を切るなど、自己ベストを出すものがいたおかげでそうなることができたと思います。中盤・終盤も自己ベスト者がいて勢いはありましたが、序盤の勢いがなかったと感じています。それが対校戦であと一步の力が出せないことに繋がったと思います。その原因は様々考えられますが、なかでもブロック長である私が今シーズン、結果での貢献をできなかったことが大きいと考えられます。

また、前述のようなブロックにするために全員が意見をもって取り組むということを意識してきました。たしかに一人一人意見を持つことはできたと思いますが、それを発信することがあまりできなかったように感じます。全員自分の中で考えるだけでなく、それを周りに投げかけ共有できていれば、より良くできたと思いました。

そしてシーズンの結果を振り返ると自己ベストはサブ種目を含めると11人中7人でした。メインのみだと5人でした。全員自己ベストを出すことが目標だったので達成はできませんでした。しかし、自己ベストタイが数人おり、大きい怪我から復帰したのもいるので、自己ベストに関しては来シーズンに期待したいと思います。

関東インカレでは複数人出場しましたが、入賞が2年次小谷野の7位のみとなりました。また、国公立26大学対校戦でもベスト近くの記録を出すものが少なかったです。このように大きな大会で力を出せなかったことが今シーズンの反省です。

投擲ブロックの反省

前投擲ブロック長 川嶋康裕

今年度の投擲ブロックからは、自己ベストを9名中5名が出すことができました。その中でも3年次の中浦と神山が日本インカレの標準を突破するなど、またそれが関東インカレ前後であったことから、非常に勢いに乗りやすかったシーズンであったと思います。また怪我で思うように練習ができていなかった、院2年次の荒井が自己ベスト、4年次の古田も完全に選手復帰するなど、ブロック長としてだけでなく、後輩として非常に嬉しい結果であったと思います。

しかしシーズンを通して、私をはじめとして、怪我や体調不良により思うように競技ができなかった人も多くなってしまいました。個人の身体のケアだけでなく、ブロックとしてまとめて身体をケアする時間をつくり、怪我をしないフォームの探求などをしていければよかったですと反省しております。

今シーズン、チームの中心となるブロックを目指そうと前期反省会でも宣言して参りました。個性豊かなメンバーしかいない投擲ブロックをまとめさせてもらったことは本当に楽しく、やりがいのある仕事でした。現在は2年次の島田にブロック長を交代しておりますが、上級生としてサポートしていきます。今後益々の投擲ブロックの躍進を願い、投擲ブロック長反省と致します。

マネージャーブロックの反省

前マネージャーブロック長 海野優佳

今年度マネージャーブロックは、新たに1年次の木村を加え、総勢5名で活動してきました。今シーズンを振り返ると、ブロック長である私自身が余裕をもって行動できていなかったと感じます。実習で練習に参加できない期間もあり、ブロック員に情報伝達はできて、その間何か問題はなかったか、などの振り返りを怠ってしまいました。何か起きてしまった際、その時どのような対処をすべきだったのか、や今後に向けた対策をその都度話し合っていれば同じような反省は繰り返さなかったはず。また、ブロック内での事前確認・情報共有が不十分であったために、練習を円滑に進めることができなかつたり、試合に必要な資料や物品に不備があったりと、チームを支える立場であるはずのマネージャーが足を引っ張ってしまう場面が多くありました。これらのことから先を見越し、早めの相談・準備、そして確認を心がけることが、マネージャーとして必要であると痛感しました。

しかし、徐々にブロック員一人一人の積極性が高まっていることも感じられました。「マネージャーだからこそできることをしたい」という思いから、新たな取り組みとして試合時に選手全員の個人目標を掲示しました。実践までに時間はかかってしまいましたが、自ら発信するという一歩を踏み出したこと、効果を実感できたことは良かったです。これは、選手と密にコミュニケーションをとり、チームに今のようなサポートが必要かをあらゆる視点から考えることができたからだと思います。

10月からはブロック長を片見に引き継ぎました。マネージャーの存在意義を改めて確認し合い、マネージャーとしてすべきことをするだけでなく、選手の声に耳を傾けながら常に向上心をもって活動していきます。また、ブロック長という役職を通して学んだことを4人で共有し、よりよいマネージャーブロックになるよう、励んでいきたいと思っています。

日立ブロックの反省

前日立ブロック長 半澤裕太

今年度の4月に2年次の大内、小谷野を加え、総勢9名で活動してまいりました。

今シーズンを振り返ると、まず関東インカレで出場者が4名、うち優勝者が1名と、日立ブロックから部内全体によい刺激を与えられたと感じています。その後の対校戦でもフィールドを中心によい結果が出たのではないかと感じます。

今年度は関東理工系に出られない中でしたが、それでも事務的な仕事を任せられることが多くありました。日立記録会をはじめ、今年度は千葉対校が日立開催でした。どちらも完璧にこなせたかは分かりませんが、日立陸協や日立体育協会の方々をはじめとして多くの方々にお世話になりながら、やるべきことはできたと思います。日立にいながらも水戸のスタッフとの連携もできていたと思います。

しかし、今年度はブロック間でコミュニケーションを取る場が少なかったように感じます。練習は各々で行い、たまたま一緒だったら練習するといったスタイルでした。この点はもう少し工夫できたのではないかと反省しています。

来シーズンからはブロック長ではなくなりますが、最高学年として後輩達をしっかりサポート出来るようにしていきたいです。

Ⅱ. 2017 年度活動報告

2017 年活動報告

日程	大会名	場所
5/25～28	第 96 回関東学生陸上競技対校選手権大会(関東インカレ)	日産スタジアム(神奈川)
6/9～11	2017 日本学生陸上競技個人選手権大会	Shonan BMW スタジアム平塚(神奈川)
6/23～25	第 101 回日本陸上競技選手権大会	ヤンマースタジアム(大阪)
6/30～2	第 72 回茨城県陸上競技選手権大会	ケーブデンキスタジアム(茨城)
8/11	第 52 回千葉大学茨城大学対校陸上競技定期戦	日立市民運動公園陸上競技場(茨城)
8/18～20	第 90 回関東陸上競技選手権大会	熊谷スポーツ文化公園陸上競技場(埼玉)
8/23～24	第 66 回関東甲信越大学体育大会	千葉県総合スポーツセンター(千葉)
9/8～10	第 86 回日本学生陸上競技対校選手権大会(日本インカレ)	福井運動公園陸上競技場(福井)
9/15～17	第 28 回関東学生新人陸上競技選手権大会	相模原ギオンスタジアム(神奈川)
9/15～17	第 32 回国公立 26 大学対校陸上競技大会	正田醤油スタジアム(群馬)
9/16～17	第 49 回関東理工系学生対校陸上競技大会	鴻巣市立陸上競技場(埼玉)
9/24	第 23 回関東大学女子駅伝対校選手権大会	印西市千葉ニュータウン(千葉)
9/30	第 68 回北関東五大学対校陸上競技大会	上尾市立陸上競技場(埼玉)
10/6～10	第 72 回国民体育大会	愛媛県総合運動公園陸上競技場(愛媛)
10/14	第 94 回東京箱根間往復大学駅伝競走予選会	昭和記念公園(東京)
12/3	第 72 回三浜駅伝競走大会	ひたちなか(那珂湊)
12/17	第 18 回荒川河川敷大学対校駅伝競走大会	荒川河川敷(東京)
12/23～24	宇都宮・千葉・群馬・高崎経済大学合同合宿	阿字ヶ浦海岸
1/13	第 15 回国公立 26 大学対校駅伝大会	熊谷スポーツ文化公園(埼玉)
1/28	第 66 回勝田全国マラソン	ひたちなか

i)大会後記

関東学生陸上競技対校選手権大会

(2017/5/25～28 日産スタジアム：神奈川)

今年度の関東インカレは、日産スタジアムにて行われました。今年度は個人種目で男子 11 名女子 5 名と男女のリレーメンバーの計 22 名が出場しました。例年より 1, 2 年次の部員の出場が少なかったように感じます。その中で 4 名が自己ベストを更新する記録を出しました。特に 3 年次の中浦が男子 2 部やり投げにおいて大会新記録で優勝し、全日本インカレの標準を突破しました。

一部の選手が良い結果でも、それを部全体の強さとして結びつけられていないように感じます。来年度の関東インカレではより多くの選手が出場し入賞できるよう日々の練習に励んでいきます。(文責：中浦凌馬)

関東インカレ結果(出場者)

種目	名前	記録	順位
男子 100m 予選	柰家 弘樹	11.15(-0.2)	
男子 200m 予選	柰家 弘樹	22.06(+2.2)	
男子 400mH 予選	本吉 広武	54.64	
男子 3000mSC 予選	小野 隼太	9.38.31	
男子 4×100mR 予選	木村(優)・齋藤(海)・柰家・本吉	41.73	
男子 4×400mR 予選	柰家・齋藤(海)・小林(柊)・本吉	3.22.48	
男子走高跳	小沼 祐希	NM	
男子棒高跳決勝	小谷野 陽平	4m40	7 位
	木内 智也	NM	
男子砲丸投決勝	中浦 凌馬	11m14	
男子円盤投決勝	中浦 凌馬	37m95	
男子やり投決勝	中浦 凌馬	71m93	1 位 大会新
	川嶋 康祐	53m07	
男子ハンマー投決勝	富岡 泰資	43m84	
男子 3 部やり投決勝	荒井 啓輔	53m76	4 位
女子 4×100m R 予選	後藤・小林(莉)・大塚(美)・蛭名	49.26	
女子 4×400m R 予選	小林(莉)・佐久間・堀邊・蛭名	4.05.93	
女子走幅跳	後藤 晴菜	5m59	
女子円盤投決勝	神山 結衣	42m14	
女子やり投決勝	島田 夏純	45m99	
	古田 映布	41m48	
女子七種競技	大塚 美穂	100mH 15" 71(+0.1) 走高跳 1m55 砲丸投 9m92 200m 27" 16(+1.4) 走幅跳 4m81(+2.4) やり投 37m09 800m 2' 35" 64 4395 点	

第 53 回千葉大学茨城大学陸上競技大会

(2017/8/11 日立市民運動公園 陸上競技場：茨城)

本大会は茨城大学主催で行われました。例年通り男女総合優勝を目指して臨みましたが、ともに2位という結果に終わりました。特に女子は1998年から昨年まで連覇を成し遂げていたため、非常に悔しい結果であったといえます。個々の力を十分に発揮できず、優勝を逃し1点を絞り取れないなど、課題の浮き彫りになる試合となりました。しかし、そのような中でも、小野や中浦の大会新記録を筆頭に、上級生の活躍が多く見られた大会でした。

来年度は千葉大学主催の千葉開催となります。本年度の悔しさを存分にぶつけ、男女総合優勝を目標に競技に取り組んでいきます。(文責：小林柊次郎)

千葉対校結果(優勝者)

種目	氏名	記録
男子 100m	齋藤 海斗	10.79(+2.9)
男子 200m	齋藤 海斗	21.74(+3.8)
男子 400m	小林 柊次郎	51.05
男子 110mH	立林 和歩	15.11(+2.5)
男子 3000mSC	小野 隼太	9.26.80
男子 4×400mR	小林・本吉・齋藤(海)・立林	3.23.46
男子走高跳	小沼 祐希	1m90
男子棒高跳	木内 智也	4m20
男子砲丸投	中浦 凌馬	10m90
男子円盤投	中浦 凌馬	41m63
男子やり投	中浦 凌馬	65m00
女子 400m	小林 莉菜	58.49
女子 100mH	蛭名 史織	15.18(+2.8)
女子 4×400mR	笹崎・小林・佐久間・蛭名	4.05.00
女子走幅跳	後藤 晴菜	5m39(+2.7)
女子走高跳	芝崎 祐美	1m55



第66回関東甲信越大学大会

(2017/8/23~24 千葉県総合スポーツセンター:千葉)

第66回関東甲信越大学大会は千葉県総合スポーツセンターで開催されました。男子総合4位、女子総合3位とチームとして去年と同様に良い結果を残すことが出来ました。今年はそれぞれの種目での入賞者が去年よりも増えた印象があります。しかし、やはりトラックとフィールドで見た時にフィールドでの獲得点数が高いので来年はトラックで一名でも多く入賞者が出せたらいいと思います。また今大会では競技だけでなく応援もすごく盛り上がっていてチームの一体感を感じました。来シーズンは今年以上にレベルアップして、全員で強くなりたいです。(文責：小林莉菜)

関甲信結果(入賞者)

種目	記録	氏名	順位
男子 100m	11.04(+0.9)	李家 弘樹	7位
男子 200m	22.83(-0.9)	齋藤 海斗	4位
	22.88(-0.9)	李家 弘樹	5位
男子 110mH	14.92(0.0)	立林 和歩	2位
男子 400mH	56.10	本吉 広武	6位
男子 3000mSC	9.31.65	小野 隼太	3位
男子 4×100mR	42.65	木村(優)・齋藤(海)・李家・小林(柊)	4位
男子 4×400mR	3.24.98	小林・立林・木村(優)・齋藤(海)	8位
男子 走高跳	1m90	小沼 祐希	6位
男子 棒高跳	4m40	木内 智也	3位
	4m30	高田 樹	5位
	4m20	小谷野 陽平	7位
男子 円盤投	37m43	中浦 凌馬	5位
男子 ハンマー投	40m72	富岡 泰資	4位
	31m51	中浦 凌馬	7位
男子 やり投	68m24	中浦 凌馬	1位
	54m93	川嶋 康祐	6位
女子 400m	58.55	小林 莉菜	6位
	61.57	佐久間 彩	7位
	61.64	笹崎 美公	8位
女子 1500m	4.47.42	廣瀬 未来	2位
	4.50.46	福島 清香	3位
女子 5000m	18.03.98	廣瀬 未来	1位
	18.40.18	金子 美鈴	3位
女子 100mH	15.22(+0.7)	蛭名 史織	5位
	15.45(+0.7)	高橋 美緒	6位
	15.53(+0.7)	大塚 美穂	7位
女子 400mH	63.74	小林 莉菜	3位
	65.59	佐久間 彩	5位
	69.47	蛭名 史織	8位
女子 4×100mR	49.85	後藤・小林・大塚(美)・蛭名	5位
女子 4×400mR	3.59.87	笹崎・後藤・小林・佐久間	2位
女子 走高跳	1m55	芝崎 祐美	5位
	1m50	大塚 美穂	8位
女子 走幅跳	5m63(+1.7)	後藤 晴菜	2位
女子 円盤投	42m98	神山 結衣	3位
	36m47	山形 菜々子	6位
女子 やり投	48m48	島田 夏純	1位
	43m58	古田 映布	3位
	38m77	大塚 美穂	4位
女子 砲丸投	11m88	神山 結衣	2位
	10m00	山形 菜々子	4位

第 86 回日本学生陸上競技対校選手権大会

(2017/9/8~10 福井運動公園陸上競技場：福井)

本年度の日本インカレは福井運動公園陸上競技場で行われ、茨城大学からは男子 1 名(3 年次中浦)、女子 1 名(3 年次神山)が出場しました。2 名とも今年が日本インカレ初出場となりました。

男子やり投げに出場した中浦は、ベストな投げをすることができず悔しい結果となりました。常に高いパフォーマンスをすることの難しさを実感したと思います。女子円盤投げに出場した神山は、自己ベストを出すことができました。しかし、まだまだ全国で通用するような記録とは言えず、全国の壁の高さを痛感しました。

本大会では日本初の男子 100m9 秒台が出たこともあり、非常に盛り上がった大会となりました。そんな日本インカレに出場するだけでなく、しっかり結果を残すことができるようこれからも成長を続けていきたいと思っています。また、1 名でも多くの出場者を出すことができるようチーム全体で取り組んでいければ良いと思います。(文責：神山結衣)

日本インカレ結果(出場者)

種目	氏名	記録
男子やり投	中浦 凌馬	67m26(24 位)
女子円盤投	神山 結衣	44m94(12 位)



男子	100m	LIVE	+1.8	NR10.01
決勝				OR10.08
				NR10.00
1	257	桐生 祥秀	夏洋大	9.98
2	799	多田 修平	関西学院大	10.07
3	205	竹田 一平	中央大	10.31
4	406	大嶋 健太	日本大	10.32
5	510	田中 佑典	日本体育大	10.36
6	204	川上 拓也	中央大	10.36
7	206	染谷 佳大	中央大	10.41
8	673	西村 颯志	富山大	10.51

第 32 回国公立 26 大学対校陸上競技大会

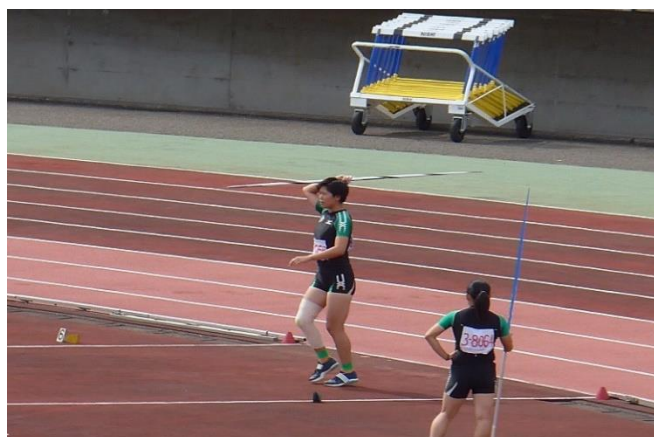
(2017/9/15～17 正田醤油スタジアム群馬：前橋)

26 大学対校陸上は、男子は総合 7 位、40 点以上、女子は総合 3 位を目標に掲げて臨みました。3 日間を通してコンディションが大きく変わり、最終日は悪天候のため日程が変更になる等、難しい環境下での試合となりましたが、男子は 51 点で 6 位、女子は 82.5 点で 3 位と男女共に目標達成することができました。関カレや全カレに出場した選手がしっかりと得点できたこと、さらにオープン部の部に出場した選手が結果で対校戦を盛り上げることができたことが良かったと思います。今回得点した選手から他のメンバーが良い刺激を受けたと思うので、来年はさらに多くの方が得点できるよう、そして対校順位をさらに上げることができるよう、練習を積み上げていきます。(文責：小野隼太)

26 大学対校結果(入賞者)

種目	記録	氏名	順位
男子 5000m	15.05.91	小野 隼太	4 位
男子 10000m	31.37.60	小野 隼太	6 位
男子 110mH	15.15(+0.9)	立林 和歩	7 位
男子 400mH	53.98	本吉 広武	4 位
男子 3000mSC	9.22.81	小野 隼太	3 位
男子棒高跳	4m40	木内 智也	3 位
	4m20	高田 樹	5 位
	3m90	小谷野 陽平	8 位
男子円盤投	36m42	中浦 凌馬	6 位
男子やり投	64m18	中浦 凌馬	2 位
男子ハンマー投	41m49	富岡 泰資	3 位
男子十種競技	5797 点	小沼 祐希	6 位
女子 400m	59.03	小林 莉奈	7 位
	62.62	笹崎 美公	8 位
女子 1500m	4.48.31	廣瀬 未来	2 位
女子 5000m	17.47.86	廣瀬 未来	1 位
	18.20.66	大塚 千穂	7 位
女子 400mH	64.70	小林莉菜	5 位
	66.21	佐久間 彩	6 位
女子 4×100mR	50.32	高橋・小林・佐久間・蛭名	6 位
女子 4×400mR	3.59.45	後藤・小林・佐久間・高橋	5 位
女子走高跳	1m55	芝崎 祐美	5 位
女子棒高跳	3m20	池田 風香	3 位
女子走幅跳	5m70 (0.0)	後藤 晴菜	4 位
女子砲丸投	12m15	神山 結衣	1 位
	9m98	山形 菜々子	5 位

女子円盤投	41m55	神山 結衣	1位
	35m33	山形 菜々子	5位
女子やり投	46m02	島田 夏純	3位
	42m56	古田 映布	6位
女子ハンマー投げ	33m05	神山 結衣	3位



第 23 回関東大学女子駅伝対校選手権大会

(2016/9/24 印西市千葉ニュータウン周回コース：千葉)

9月24日に、千葉ニュータウン周回コースにて、第23回関東大学女子駅伝対校選手権大会が開催されました。1区から順に、廣瀬、福島、山本、金子、山崎、大塚が走り、総合順位は20位でした。大きな崩れは無く最後まで襷が繋がり、20位以内という目標は達成することができましたが、個人的なタイムを見ると、悔しさが残る結果となりました。私立大と戦える唯一の駅伝。来年は一人一人のレベルをもっと上げ、強豪校との差を縮めていきたいです。(文責:金子美鈴)

関東大学女子駅伝(30.6km) 総合 20位

	1区(4.6km)	2区(4.5km)	3区(3.3km)	4区(5.8km)	5区(4.6km)	6区(7.8km)
氏名	廣瀬 未来	福島 清香	山本 麻友子	金子 美鈴	山崎 ひかる	大塚 千穂
記録	17.23	15.49	12.58	21.39	18.23	28.49
順位	(区間 22位)	(区間 22位)	(区間 21位)	(区間 19位)	(区間 21位)	(区間 17位)
総合	17.23(22位)	33.12(21位)	46.10(21位)	1:07.49(21位)	1:26.12(21位)	1:55.01(20位)



第 68 回北関東五大学対校陸上競技大会

(2017/9/30 上尾運動公園陸上競技場：埼玉)

今年度最後の対校戦であった北関東五大学では、男女完全優勝を目指して Gear Change を目標に臨みました。結果としては、男子総合 2 位、女子は昨年に引き続き優勝を飾りました。3 年次の神山が女子円盤投げにおいて 43m16 で大会新を成し遂げ女子 MVP の活躍をし、チームに勢いをつけました。また、自己ベストが 9 人とシーズン最後に記録が向上した選手もみられました。一方で、なかなか力を発揮できなかった部員もいます。結果のよし悪しに関わらず、来シーズンに向けて各個人課題を見つけることが出来た大会でありました。

今回初めての試みとして、個人の目標を模造紙に貼り全員で共有する機会があり、応援にも力が入りました。目標を可視化することでより一層気持ちが引き締まり、目標を達成した部員には労いの言葉を部員同士ですることによってチームがいい雰囲気での競技することができました。

来年度の北関東五大学は茨城での開催となります。運営と両立しながら、競技において今年果たすことのできなかった完全優勝を成し遂げられるよう反省を踏まえて精進していきたいと思います。(文責：廣瀬未来)

北関東五大学対校結果(優勝者)

種目	記録	氏名
男子 110mH	15.15(+2.1)	立林 和歩
男子 やり投	61m20	中浦 凌馬
女子 1500m	4.44.20(手動)	廣瀬 未来
女子 3000m	10.21.67	廣瀬 未来
女子 400mH	64.20	佐久間 彩
女子 4×400mR	3.56.78	後藤・小林・佐久間・高橋
女子走幅跳	5m64(-0.2)	後藤 晴菜
女子 砲丸投	11m89	神山 結衣
女子 円盤投	43m16	神山 結衣
女子 やり投	45m04	島田 夏純



第 94 回東京箱根間往復大学駅伝競走予選会

2017/10/14 陸上自衛隊立川駐屯地～立川市街地～国営昭和記念公園（東京）

今年度も昨年度に引き続き出場することができました。4 年次の小野が最高学年としてチームを牽引しました。今年度は昨年度に比べ、チーム全体で約 4 分縮めることができました。しかし、チーム成績では、出場した国公立大学のなかでも下位であり、課題もあります。

来年度の資格記録が 10000m34 分以内のみと変更になりました。出場資格が厳しくなりましたが、来年度も出場できるよう精進していきます。（文責：齊藤鉄）

箱根予選会結果(20 km) 総合順位 47 位 11:40.33(上位 10 人)

氏名	記録	順位	氏名	記録	順位
小野 隼太	1:05.39	353	牧原 大信	1:10.36	510
前川 凜太郎	1:08.38	450	本田 峻	1:11.22	523
大内 一真	1:08.58	462	中里 純也	1:12.10	533
半澤 裕太	1:09.05	466	古川 裕隆	1:13.47	553
齊藤 鉄	1:10.03	496	樋口 卓哉	1:16.43	563
田村 元	1:10.15	503	坂根 領斗	1:17.05	565



第 72 回三浜駅伝

(2017/12/03 那珂湊)

今年度の三浜駅伝は男子から 2 チーム、女子から 1 チームが参加した。結果としては男子 1 部が総合 3 位、2 部が部門 3 位、女子が総合 2 位だった。目標を達成できたのは男子 2 部のみで、男子 1 部と女子は総合優勝に届かなかった。特に男子は高校生に負けるという屈辱的な結果となった。収穫は男子 2 部が目標を達成したことで、下からの底上げができていると感じたことである。この結果をしっかり受け止めて来シーズンは男女ともに総合優勝を勝ち取りたい。(文責：半澤裕太)

三浜駅伝男子結果(33.9km) A チーム 一般男子一部 2 位 総合 3 位

	1 区(6.1km)	2 区 (7.5km)	3 区 (3.3km)	4 区 (6.8km)	5 区 (4.5km)	6 区 (5.7km)
氏名	半澤 裕太	小野 隼太	田村 元	前川 凜太郎	齊藤 鉄	大内 一真
記録	18.53	22.54	9.59	21.48	14.48	17.53
順位	(区間 1 位)	(区間 2 位)	(区間 1 位)	(区間 3 位)	(区間 2 位)	(区間 3 位)
総合	18.53	41.47	51.46	1:13.34	1:28.22	1:46.15

B チーム 一般男子二部 3 位

	1 区(6.1km)	2 区 (7.5km)	3 区 (3.3km)	4 区 (6.8km)	5 区 (4.5km)	6 区 (5.7km)
氏名	牧原 大信	本田 峻	小久井 健将	嶋崎 拓海	坂根 領斗	樋口 卓哉
記録	20.09	25.09	10.11	23.27	15.53	19.33
順位	(区間 6 位)	(区間 4 位)	(区間 1 位)	(区間 6 位)	(区間 3 位)	(区間 4 位)
総合	20.09	45.18	55.29	1:18.56	1:34.49	1:54.22

三浜駅伝女子結果(20.2 km) 一般女子 2 位

	1 区(6.2km)	2 区 (5.1km)	3 区 (3.7km)	4 区 (1.9km)	5 区 (3.1km)
氏名	廣瀬 未来	福島 清香	大塚 千穂	金子 美鈴	増田 梨沙
区間	23.01	18.36	13.17	6.31	10.48
順位	(区間 2 位)	(区間 2 位)	(区間 1 位)	(区間 1 位)	(区間 2 位)
総合	23.01	41.37	54.54	1:01.25	1:12.13

第 18 回荒川河川敷大学対校駅伝競走大会

(2017/12/17 荒川河川敷：東京)

第 18 回荒川河川敷大学対校駅伝競走大会には、男女ともに対校 1 チーム、そしてオープンには男子が 1 チーム出場しました。男子は小野、田村、半澤、大内、齊藤、前川のオーダーで走り、2 時間 18 分 33 秒で総合 11 位でした。対校、オープンともに、チーム全体として試合に合わせるできませんでした。また、体調不良者や怪我人が出てしまいベストメンバーで組むことができず悔しい結果になりました。しかし、それぞれが任された区間でベストを尽くしました。

女子は、廣瀬、金子、大塚、増田、福島のオーダー走り、2 時間 11 分 38 秒で優勝しました。今回で 5 連覇をすることができました。怪我により直前に区間変更がありましたが、大きく崩れることなく走ることができたのがよかったです。しかし、全体的にタイムが良くなかったので国公立 26 大学駅伝に向けてチームとして見つめなおすきっかけとなったと思います。男女ともにまだまだ伸び代があると感じた大会だったので、次の荒川駅伝では今大会よりも良い順位、タイムで走れるように練習をしたいと思います。(文責:大塚千穂)

荒川駅伝男子結果 (42.195 k m) 総合順位 11 位

	1 区(10 k m)	2 区(3 k m)	3 区(8 k m)	4 区(8 k m)	5 区(5 k m)	6 区(8.195 k m)
氏名	小野 隼太	田村 元	半澤 裕太	大内 一真	齊藤 鉄	前川凜太郎
区間	31.26	9.19	26.16	26.46	16.51	27.55
順位	(区間 3 位)	(区間 8 位)	(区間 11 位)	(区間 15 位)	(区間 12 位)	(区間 20 位)
総合	31.26(3 位)	40.45(3 位)	1:07.01(7 位)	1:33.47(9 位)	1:50.38(11 位)	2:18.33(12 位)

荒川駅伝オープン結果 (42.195 k m) 総合順位 9 位

	1 区(10 k m)	2 区(3 k m)	3 区(8 k m)	4 区(8 k m)	5 区(5 k m)	6 区(8.195 k m)
氏名	牧原 大信	小久井健将	本田 峻	古川 裕隆	坂根 領斗	樋口 卓哉
区間	34.43	9.28	26.57	27.21	17.23	29.26
順位	(区間 11 位)	(区間 1 位)	(区間 3 位)	(区間 7 位)	(区間 13 位)	(区間 15 位)
総合	34.43(11 位)	44.11(9 位)	1:11.44(8 位)	1:38.29(6 位)	1:55.52(7 位)	2:25.18(9 位)

荒川駅伝女子結果 (34 k m) 総合順位 1 位

	1 区(10 k m)	2 区(3 k m)	3 区(8 k m)	4 区(8 k m)	5 区(5 k m)
氏名	廣瀬 未来	金子 美鈴	大塚 千穂	増田 梨沙	福島 清香
区間	38.45	11.09	30.31	32.04	19.09
順位	(区間 3 位)	(区間 2 位)	(区間 1 位)	(区間 1 位)	(区間 4 位)
総合	38.45(3 位)	49.54(1 位)	1:20.25(1 位)	1:52.29(1 位)	2:11.38(1 位)

第 15 回国公立 26 大学対校駅伝大会

(2018/1/13 熊谷スポーツ文化公園：埼玉)

第 15 回国公立 26 大学対校駅伝大会が埼玉県の熊谷スポーツ文化公園で開催されました。男女共に対校 1 チーム、そしてオープンも含め計 4 チームと、多くの部員が参加しました。例年と比べて天候に恵まれ、駅伝シーズンの集大成として大きな目標を掲げて戦いました。結果としては、対校男子は 9 位で、1 区小野が区間賞を取りました。しかし他大学のレベルも高く順位を落とす形となり、襷を最後までつなぎましたが悔しい結果となってしまいました。対校女子は 2 年連続の優勝となり、3 区金子が区間賞を取りました。前日までメンバーに迷いましたが、当日は一つ一つ確実に順位を上げていき、とても感動的な勝利になったと思います。これまでチームを引っ張ってきた 4 年生が今大会をもって引退します。男女ともに「自分がチームを引っ張っていく」という気持ちを持って、競い合いながらさらに上を目指して行ってほしいです。(文責:増田梨沙)

26 大学対校駅伝結果(38.56km) 対校男子 総合順位 9 位

	1 区(9.85 km)	2 区(3.12 km)	3 区(7.57 km)	4 区(5.0 km)	5 区(5.0 km)	6 区(8.05 km)
氏名	小野 隼太	伊藤 裕紀	半澤 裕太	田村 元	本田 峻	齊藤 鉄
区間	29.27	10.10	24.17	15.51	16.47	26.08
順位	(区間 1 位)	(区間 16 位)	(区間 10 位)	(区間 8 位)	(区間 15 位)	(区間 12 位)
総合	29.27(1 位)	39.37(5 位)	1 : 03.54(7 位)	1 : 19.45(8 位)	1 : 36.32(9 位)	2 : 02.40(9 位)

オープン男子 茨城大学 B

	1 区(9.85 km)	2 区(3.12 km)	3 区(7.57 km)	4 区(5.0 km)	5 区(5.0 km)	6 区(8.05 km)
氏名	牧原 大信	小久井健将	中島 康平	樋口 卓也	中里 純也	島崎 拓海
区間	33.02	10.00	25.46	16.58	17.20	28.02
総合	33.02	43.02	1 : 08.48	1 : 25.46	1 : 43.06	2 : 11.08

26 大学対校駅伝結果(16.29 km) 対校女子 総合順位 1 位

	1 区(5.0 km)	2 区(3.12 km)	3 区(3.12 km)	4 区(5.0 km)
氏名	大塚 千穂	増田 梨沙	金子 美鈴	廣瀬 未来
区間	17.45	11.31	11.08	18.48
順位	(区間 5 位)	(区間 2 位)	(区間 1 位)	(区間 5 位)
総合	17.45(5 位)	29.16(2 位)	40.24(2 位)	59.12(1 位)

オープン 茨城大学 C

	1 区(5.0 km)	2 区(3.12 km)	3 区(3.12 km)	4 区(5.0 km)
氏名	齋藤 海斗	小林 莉奈	木村 優	立林 和歩
区間	19.12	12.12	12.36	20.37
総合	19.12	31.24	44.00	1 : 04.37

第 66 回勝田全国マラソン

(2018/01/28 ひたちなか)

1月28日に第66回勝田全国マラソンが開催されました。4年次がフルマラソンに、中長距離のメンバーが10kmに出場しました。当日はレース中雪が降るくらい寒いなかスタートしました。フルマラソンでは5kmごとに部員が沿道で応援してくれたことや、地元の方々の応援を力に変えて走りました。しかし、関門の時間制限に間に合わなかった選手や、寒さで低体温症になり途中棄権してしまった選手もいて、全員が完走することは出来ませんでした。ベストを尽くすことができました。(文責：杵家弘樹)

勝田全国マラソン結果

男子フルマラソン 39歳以下(2756人中)					
氏名	記録	順位	氏名	記録	順位
小野 隼太 (4)	2:41.51	65位	小林 柊次郎 (4)	5:12.22	2307位
杵家 弘樹 (4)	3:50:51	1076位	中浦 凌馬 (3)	なし	途中棄権
樋口 卓哉 (4)	5:05.40	2225位	富岡 泰資 (4)	なし	途中棄権
女子フルマラソン 39歳以下(410人中)					
廣瀬 未来 (4)	3:34.30	59位	後藤 晴菜 (4)	5:43.10	377位
増田 梨沙 (4)	3:42.35	77位	石堀 芙柚 (4)	5:43.10	378位
蛭名 史織 (4)	5:16.12	316位	大塚 美穂 (4)	なし	途中棄権
男子10km 39歳以下(1262人中)					
前川 凜太郎 (1)	0:32.41	30位	牧原 大信 (1)	0:34.06	53位
齋藤 鉄 (2)	0:33.44	50位			
女子10km 39歳以下(784人中)					
大塚 千穂 (2)	0:38.08	11位	山本 麻友子 (2)	0:44.45	23位
金子 美鈴 (3)	0:39.32	14位			



ii) その他の主な競技会の結果

茨城県選手権(2016) 8位入賞者

種目	記録	氏名	順位
男子 110mH	15.18	立林 和歩	8位
男子 400mH	56.25	本吉 広武	8位
男子 4×100mR	41.62	木村(優)・齋藤(海)・柰家・本吉	3位
男子 4×400mR	3.17.09	柰家・川原・齋藤(海)・立林	6位
男子 走高跳	1m95	小沼 祐希	4位
男子 棒高跳	4m60	木内 智也	2位
	4m30	小谷野 陽平	4位
	4m20	高田 樹	5位
男子 円盤投	38m47	中浦 凌馬	7位
男子 やり投	64m75	中浦 凌馬	3位
男子 十種競技	5489点	小沼 祐希	5位
女子 1500m	4.48.76	廣瀬 未来	8位
女子 100mH	15.17	蛭名 史織	3位
女子 走幅跳	5m46	後藤 晴菜	2位
女子 やり投	39m94	古田 映布	8位

その他の競技会(入賞者のみ記載)

大会名	日時	種目	記録	氏名	順位等
栃木県選手権	5/27~29	女子 円盤投	40m35	神山 結衣	1位
		女子 砲丸投	12m52		1位
岩手県選手権	7/7~9	男子 5000m	15.21.05	小野 隼太	3位
		男子 10000m	33.1870		2位
福島県総体	7/13~16	女子 やり投	48m78	島田 夏純	1位



iii) その他の活動

協力審判員

茨城大学陸上競技部は、競技者として活動するだけでなく、協力審判員としても陸上競技に関わっています。協力審判員を通して、いつもと違った視点で陸上競技に取り組むことができました。また、平成 29 年度の千葉対校は茨城大学が主催となり、競技会を運営する大変さを実感しました。日頃からお世話になっている陸協の皆さんに感謝の気持ちを持つとともに、今後とも協力審判員を通して陸上競技に関わり、競技者としても成長していきたいと思えます。(文責：川原直之)

主な審判員活動の内容

跳躍審判、投擲審判、監察員、周回記録員、風力計測員、写真判定員、記録員、競技者係、出発係、スターター・リコーラー

2017 年度審判補助員活動一覧

月日	大会名
4/29	日立記録会
5/3	中学記録会
6/3	中学記録会
6/11	中学記録会 日立記録会
6/18	全国小学生陸上競技交流大会茨城県選考会
6/30~7/2	茨城県陸上競技選手権大会
7/9	茨城県中学総体
7/23	日立記録会
8/26	日立記録会
10/8~10/9	茨城県中学新人体育大会陸上競技大会
10/15	日立記録会
10/29	漫遊マラソン
11/4	日立記録会

冬季合同合宿

12月23日～24日にかけて、阿字ヶ浦にて冬季合同合宿を行われました。茨城大学、宇都宮大学、群馬大学、高崎経済大学、千葉大学、埼玉大学の6大学で行われ、また県内の高校生も参加して合同練習を行いました。2日間、各ブロックに分かれ、ひたち海浜公園、阿字ヶ浦海岸の地、村松海岸を利用して練習を行い、最終日には全員でエンドレスリレーを行いました。今年は例年と違い1泊2日という短い期間でしたが、練習の時はもちろん練習以外の時間でも他大学の学生と交流する機会があり、いつもとは違った刺激を受けることができました。部員全員が高いモチベーションを持ち臨むことができていたので、とても有意義な合宿にすることができました。また今年から新たに埼玉大学が参加しました。このように交流の輪をこれから広げられていければ良いと思えます。シーズンが始まれば交流した他大学とはライバル関係となりますが、お互いを高め合うとともに、負けないという意識を持ち切磋琢磨していきたいです。(文責：本田峻)

Ⅲ. 2018 年度シーズンの抱負

主将抱負

主将 小沼祐希

今年のチーム方針は「スペシャリスト」としました。一人一人が何かのスペシャリストとして個性を出していくという意味です。競技で引っ張っていく人・ムードメーカーとしてチームを盛り上げる人などどのような形であろうと自分の良さを出していけるようにしたいです。そして、その良さを認めチームとして高め合っていきたいと考えています。

また今年には北関東五大学対校の主催があり、2019 年には関東甲信越大学体育大会の主催が控えているため運営面もしっかりやっていきたいと思います。

私自身跳躍ブロック長と主将を兼任という立場になり、初めは戸惑いもあり力不足ではありますが成長していきたいと思いますのでどうぞよろしくをお願いします。

主務抱負

主務 山本麻友子

今年度の主務を務めさせていただきます。私は「人を頼るのがうまいね」とよく言われます。このことを前向きにとらえ、スタッフをはじめとする周りの人との情報共有を徹底したうえで、責任をもって仕事を務めていきます。また、自分が主務である前に一人の陸上部員であることを忘れずに周りを見て行動し、チームの向上に貢献します。

今年度は北関東五大学対校戦の主催もあります。自分自身への不安もありますが、全員が協力できる関係ができればいいと思っています。至らない点が多いと思いますが、頑張りますので、どうぞよろしくをお願いします。

短距離ブロックの抱負

短距離ブロック長 堀邊美咲

今シーズンの短距離ブロックは、女子 4 継・マイルで日本インカレに出場すること、関東インカレ出場者を増やすこと、国公立 26 大学対抗戦で全短距離種目入賞することを目標に練習に取り組んでいきます。昨シーズンはピークが後半に偏ってしまったので、前半からしっかり好記録を出し、その勢いでシーズンの後半も走り抜きたいです。そのためにも、目標の明確化やサイクル・メニューの組み方など、ブロック員で話し合いながら進めていきたいと思っています。

部を盛り上げ、引っ張っていけるような短距離ブロックにしたいです。1 年間よろしくをお願いします。

中長距離ブロックの抱負

中長距離ブロック長 齊藤鉄

中長距離ブロック長に就任しました齊藤鉄です。強い中長距離ブロックにしたいという気持ちでいっぱいです。

今シーズンの対校戦では四年次エースに頼りきりでした。来シーズンは中長距離ブロックの総合力を上げなければ、対校戦で戦うことができません。来シーズンの対校戦では総合力で戦えるようにしていきます。

そのために、練習状況や走行距離などの基本的な部分の見直しを図り、管理を徹底し、課題点を明確にしたうえで日々の練習に活かしていきます。また、練習の目的を確認し、より質の良い練習を継続します。

ブロック員が多いことを活かし、切磋琢磨しあいながら中長距離ブロックからチームに良い雰囲気を作っていきます。

跳躍ブロックの抱負

跳躍ブロック長 小沼祐希

今年度の跳躍ブロックの目標は「全員関東インカレ出場」と「各対校戦での上位入賞」です。

1 つ目の目標に関しては、現在跳躍ブロックはブロック員の半分が標準記録の突破をしていますが、かなり難しい挑戦になると思います。しかし、ブロック員全員が関東インカレに出場できるだけのポテンシャルは秘めていると思います。高い目標を持ち高い意識を持つことで、そのポテンシャルを引き出すことができれば良いと考えています。

2 つ目の目標に関しては各々の能力を考えれば十分に達成が可能であると考えています。しかし、昨年は大きな対校戦ではブロックとして良い結果を出すことができませんでした。なぜなら、対校戦で活躍する者が固定化していたからです。そのため、今年度はより切磋琢磨し競技レベルを向上させることで各々が結果を残し、より多くの点数を取りチームへの貢献を目指していきます。

ブロックの皆さんがシーズンを終えて、「今シーズンはいいシーズンだった」と思ってもらえるようにブロック長として全力でサポートさせていただきたいと思います。また、私自身も競技面で結果を残し、ブロックを盛り上げていけるように頑張ります。1年間、よろしくお願い致します。

投てきブロックの抱負

投てきブロック長 島田夏純

今年の投てきブロックの目標は二つです。一つ目は「関東インカレ全員入賞」です。昨年は優勝者も出ましたが、あと一步のところに入賞を逃す場面が多かったです。そういった場面无くし、今年は全員が入賞するという気持ちを強く持って挑んでいきます。二つ目は「全日本インカレの出場者を増やす」ことです。昨年投てきブロックは二名が全日本インカレに出場しました。二名はさらに上を目指すとともに出場する人数を増やし盛り上がり続ける投てきブロックを目指します。

人数は少ないですが、盛り上がり続ける投てきブロックの応援よろしくお願い致します。

マネージャーブロックの抱負

マネージャーブロック長 片見恵都

マネージャーブロックは人数が増え、余裕を持った活動ができるようになってきていると感じます。しかし、人数が増えたぶん、情報の伝達がスムーズでないといった問題やブロックのメンバー内で、活動に対する熱量に差ができてしまうといった問題もできてしまいました。そういった問題について改善していかなければならないと感じています。

また、今行なっている活動をもう一度、本当に選手が望んでいることなのかと疑うことわしなればならないと感じています。選手とコミュニケーションを密にし、その時に一番必要なことを見極め活動していきたいと思います。

まだまだ至らない点が多々あると思いますがよろしくお願い致します。

日立ブロックの抱負

日立ブロック長 大内一真

来年の抱負として、12月から来年の3月まで池の川陸上競技場が使えなくなるが、工学部の選手の実力の向上と選手間の交流を深められるようにしたい。また今年は参加できなかったが、関東理工系に出場することと、そこで今まで以上の結果を残せるように働きかけていきたい。

IV. 2018 年度活動予定

2017 年活動予定

日程	大会名	場所
5/24～27	第 97 回関東学生陸上競技対校選手権大会(関東インカレ)	相模原ギオンスタジアム(神奈川)
6/15～17	2018 日本学生陸上競技個人選手権大会	Shonan BMW スタジアム平塚(神奈川)
6/22～24	第 102 回日本陸上競技選手権大会	維新百年記念(山口)
7/6～7/8	第 73 回茨城県陸上競技選手権大会	笠松運動公園陸上競技場(那珂)
8/12	第 53 回千葉大学茨城大学対校陸上競技定期戦	千葉県総合スポーツセンター陸上競技場(千葉)
8/21～23	第 67 回関東甲信越大学体育大会	新潟市陸上競技場(新潟)
8/24～26	第 91 回関東陸上競技選手権大会	笠松運動公園陸上競技場(那珂)
9/6～9	第 87 回日本学生陸上競技対校選手権大会(日本インカレ)	等々力(神奈川)
9/	第 50 回関東理工系学生対校陸上競技大会	鴻巣市立陸上競技場(埼玉)
9/	第 29 回関東学生新人陸上競技選手権大会	未定
9/18～20	第 33 回国公立 26 大学対校陸上競技大会	熊谷文化スポーツ公園(埼玉)
9/23	第 24 回関東大学女子駅伝対校選手権大会	印西市千葉ニュータウン(千葉)
10/5～9	第 73 回国民体育大会	福井運動公園陸上競技場(福井)
10/13	第 95 回東京箱根間往復大学駅伝競走予選会	昭和記念公園(立川)
11/3	第 69 回北関東五大学対校陸上競技大会	笠松運動公園陸上競技場(那珂)
12/2	第 73 回三浜駅伝競走大会	ひたちなか(那珂湊)
12/16	第 19 回荒川河川敷大学対校駅伝競走大会	荒川河川敷(北上)
12/	宇都宮・千葉・群馬・高崎経済大学合同合宿	阿字ヶ浦海岸
1/12	第 18 回国公立 26 大学対校駅伝大会	熊谷スポーツ文化公園(熊谷)
1/27	第 67 回勝田全国マラソン	ひたちなか
3/	第 28 回楮川駅伝競走大会	楮川ダム(水戸)
3/23～24	関東学連春季オープン陸上競技会	未定

V. 引退される先輩より

荒井啓輔

大学院に進学し、他の人より2年も長く過ごしているのにも関わらず、あっという間と感じた6年間でした。高校入学と同時に始めたやり投の自己ベストは、43mから58m99にまで伸ばすことができました。

さて、この2年間を振り返ると、1年目は考えていたことがやっとなりになり、後半にはそれが結果として表れてくるようになりました。しかし、2年目になるとまたも身体が耐えられず、思い描いたようなシーズンを送ることはできませんでした。それでも、やり投が好きだからという理由で競技を続けることを決意し、過ごした2年間に悔いはありません。苦しい時間も長かったです、自己ベスト



を出すには、理想の動きに近づけるには、と考え、実行していく日々の積み重ねは何ものにも代え難い財産となりました。また、茨城大学陸上競技部では、運営にも関わり、2期にわたってブロック長を務めさせていただきました。組織として動く中で上手い出来ないこともたくさんありましたが、とても良い経験をさせていただきました。

最後になりましたが、6年間指導してくださった上地先生、渡邊先生、的確なアドバイスをしてくださった滑川コーチ、一緒に戦い、いつも支えてくれた同期や先輩後輩の皆様、本当にありがとうございました。茨城大学陸上競技部の益々の発展、ご活躍を心より願っています。

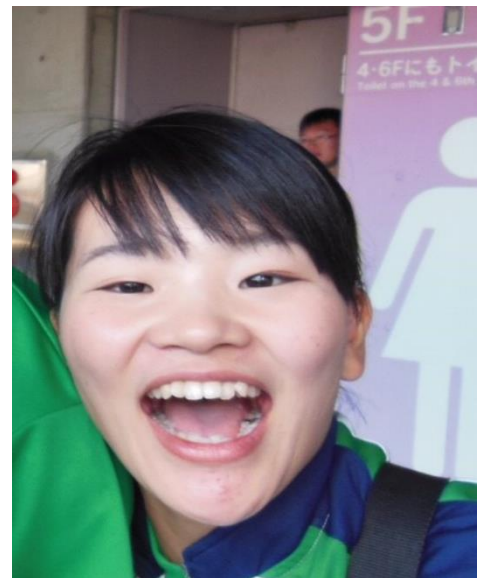
教育学研究科/保健体育/投擲

やり投・58m99 / 100m・11秒94

石堀美柚

9月30日の北関東5大学対校戦から、早くも5か月ほど経ってしまいました。この5か月間は、ぽっかりと穴の開いたような日々で、陸上部が生活の真ん中にあり続けていたことを改めて感じています。その中でも、箱根駅伝予選会や、各駅伝大会、合宿などで選手を近くで応援、サポートすることができ、この部活が大切にす、部員同士のつながりや、連帯感を改めて感じることができました。

陸上部のマネージャーとして活動した日々には、本当にたくさんの実りがありました。マネージャーとして何ができるのか考え、行動に移していく中で、選手の声聞いて、それに答えることの難しさや大切さを実感していきました。部員の個性は強く、多くの価値観や考え方があって、迷うこともありました、その何倍も多くのことを学ぶことができたように思います。そしてなによりも、マネージャーという立場が本当に素敵だということ、陸上競技が素晴らしいスポーツであることを、この部活で出会った多くの人から教えてもらいました。これから先も、学んだことを自分の糧にし、誰かを支えられるような人間になります。そして、ここで出会った仲間を一生大切にしていきたいです。



第2グラウンドから見る夕焼けがきれいだったこと、練習後に食べるラーメンがおいしかったこと、選手の走りに、皆の応援に鳥肌が立ったこと、さりげない感動は、すべて陸上部でしか味わえないものした。後輩の皆さんには、今しか味わえないものを全身全霊で味わい尽くしてほしいと思います。ずっと応援しています。

最後になりましたが、お世話になったすべての方々へ、本当にありがとうございました。

教育学部/心理/マネージャー

蛭名史織

過ぎてみるとあっという間の4年間でした。引退をしてから、今まで生活の中心にあった「陸上競技」がなくなり、どことなく物足りない生活を送っている感じがします。現役の時は辛いことも多く、何度も陸上をやっている意味を見失いました。しかし今思うと、悩んだり、苦しんだりしながらも真摯に向き合っていたからこそだと思います。陸上を最後まで続けたからこそ得られたものではないかと感じています。

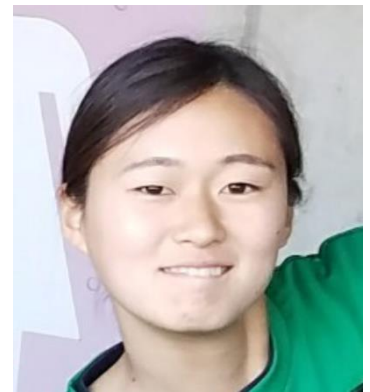
競技面では、個人、チームともに大きな目標を達成できなかった悔しさが今でも心に残っています。この悔しさは自分ではもう晴らすことは出来ませんが、違う形でしっかり晴らしたいと考えています。

陸上人生を通して先生や先輩、同期や他大の選手、後輩、本当にたくさんの出会いがありました。この出会いは私の人生の中で、大きな財産になったと思っています。

最後になりましたがいつも応援してくれたり、支えてくれたりした皆様。本当にありがとうございました。今度は私が茨大陸上部の後輩たちを応援していきたいと思っています。

教育学部/健康/短距離

100mH・15秒17 / 400mH・65秒36



大塚美穂

大学での陸上競技生活はこの場では語りつくせない程いろいろなことがありました。新しい環境になかなか慣れることが出来なかった1年目、結果を出すことが出来ずに辛く苦しんだ2年目、メニュー作りなどに苦戦しながらもスタッフとしての活動を通して多くを学べた3年目、やっと自己ベストを更新できたがそれ以上を出し切れなかった4年目。大学4年間を振り返ると、楽しかった思い出と同じくらい辛く苦しい思い出もたくさんあったように思います。正直、部活を辞めたいと思った時期もありました。それでも辞めずに最後まで活動することが出来たのは、先生方をはじめ、先輩方、同期のみんな、後輩たちの支えがあったからです。悩んだ時にはすぐに相談に乗ってくれたり、自分が未熟な時には真剣に叱ってくれたりするなど、さまざまな場面で私を成長させてくださいました。大学4年間を通して競技面だけでなく、人間的にも強く成長させてくれた茨城大学陸上競技部に感謝したいです。本当にありがとうございました。ここで学んだことを生かしてこれからも頑張っていきたいと思っています。教育学部/保健体育/跳躍七種競技・4462点 / 走高跳・1m55 /

100mH・15秒47 / 砲丸投・10m36



小野隼太

大学4年間の競技生活を1月末の勝田マラソンまでたっぷりと満喫し、いざ部活から離れると、生活はガラッと変わり驚いています。部活に行っていた頃は気づきませんでしたが、いかに陸上競技が自分の生活の大部分を占めていたかを改めて感じます。

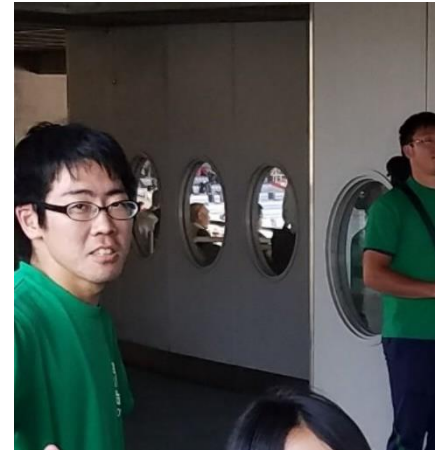
自分は1年間浪人を経験したあと、不安もありましたが、大学で競技復帰することを決めました。卒業を前にして、4年間楽しかったことも嬉しかったことも、苦しかったことも多くありました。とても充実した4年間でした。ここまで部活を続けてきて良かったなと思います。

大学の良いところは様々な人と出会えることだと思っています。”陸上競技”、”陸上部”と一言で言っても、人によって考え方は全く違います。また、対校戦、合宿、合同練習を通して、大学の垣根を越えた出会いも多くありました。その中で自分の競技に対する考え方、価値観も大きく変わったなと感じています。多くの出会いに本当に感謝しています。

来年からは茨城大学の大学院に進学する予定ですが、陸上競技は学業に影響しない範囲で続けたいと考えています。練習にも参加したいです。その時はよろしくおねがいします。

理学部/物理学/中長距離

3000mSC・9分06秒71 / 5000m・14分43秒80 / 10000m・31分4秒42 / ハーフマラソン・69分20秒



小林終次郎

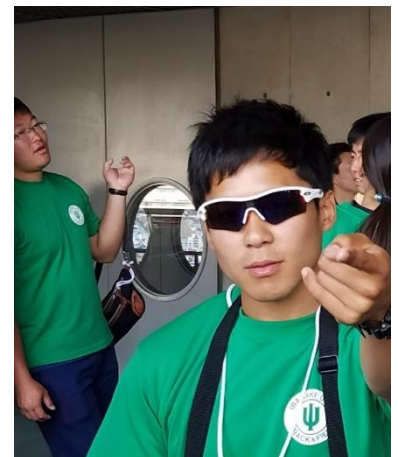
私が中学1年生から始めたこの陸上競技も、気が付けばもう10年の歳月がたち、この部誌の1部として残さなければいけない日が来てしまいました。月並みな表現ではありますが、やはりこの4年間はあるという間でした。結局、大学では本命と思ってやっていた100mは、中学生で出した記録にすら及ばず、何度も泣きを見てきたことは今でも悔しい気持ちでしかありません。しかし、ここまで陸上競技を続けてきたからこそ得られたものは数えきれません。現在、競技の継続を悩んでいる人、記録が伸び悩みくすぶっている人、ぜひ陸上競技を始めたころのこと、なにが自分に足りないか、本気で考えてみてください。競技で得られる悔しさも楽しさも、競技をやっていないと感じることがないものです。

今思えば、ああしていればよかった、こうしていればよかったと後悔することばかりですが、そういった経験をさせてくれた陸上競技部に感謝しかありません。ここまでご指導くださった、上地先生、渡邊先生、本当にありがとうございました。ここで学んだことを、これからは自分らが伝えていけるように精進していきます。また、ここまで支えてくれた我ら小野世代のみんながいたからこそ、楽しい4年間を過ごすことができました。愛しています。

いろんな人と巡り合えた陸上競技、最高！

教育学部/スポーツ/短距離

100m・11秒63 / 200m・23秒10 / 400m・51秒05



後藤晴菜

卒業が迫っている今、大学生生活の尊さをひしひしと感じています。私は、この大学生生活のほとんどを陸上部で過ごし、学生アスリートとして活動してきたことをとても誇りに思っています。

陸上競技を初めて10年目になりますが、ここまで続けてくる中には、たくさんの変化がありました。良い状態で競技できていた時もあれば、上手くいかない事もたくさんありました。そんな中でも続けてこれたのは、やはり部の存在です。私はひとりよがりな所があり、臨機応変に人の力を借りることが苦手でした。しかし、それは頭の良い方法ではありませんでした。茨城大学の陸上部には、学部学科が異なるメンバーが所属しています。そのおかげで、自分にはない価値観や考え方をを持った選手とたくさんの時間を共有することが出来ました。1人じゃ考えつかないことや、気づけなかったことに会うなど、新たな発見をすることが出来ました。チームとして活動する意味はここにあると思います。さらに、チームのメンバーと切磋琢磨し互いに競い合い、そして、試合で競う他大学の選手と競うことができる環境が茨城大学陸上競技部には整っています。その環境は当たり前にあるように思えますが、競技者として本当に幸せな環境だと今更ながら思います。

しかし、時間は有限です。振り返れば陸上部での活動で埋め尽くされている大学生生活も残りわずかで、社会人になる不安が徐々に増してきています。部員としてのタイムリミットはいつか来てしまいますが、その後の人生の方が圧倒的に長いので、ここで学んだことを先の人生に繋いでいけるよう、部の仲間との繋がりも大切にしながらこれからも頑張りたいと思います。

指導して下さった先生方、応援して下さったOBOGの先輩方、チームとして一緒に戦ってきた仲間から心から感謝申し上げます。

教育学部/保健体育/跳躍

走幅跳・5m79 / 三段跳・11m10 / 100m・12秒62 / 200m・26秒00



富岡泰資

大学生生活の4年間を振り返ると陸上部での活動がその多くを占めていたと思います。入部した頃は関東インカレに出場してみたいと漠然とした目標があった訳ですが、運良く1年目に標準記録を突破して、早々と目標を達成してしまいました。そこからの3年間は「茨大記録を更新したい、関東インカレで入賞したい、全カレに出場したい」という目標をもって活動をしていましたが、それらを達成することができなかったことは今でも悔しく思います。

しかし、怪我をして練習ができない、なかなか記録が伸びてくれないと様々な事にもがき苦しんだ3年間は今考えてみると間違いなく私の財産となっているように感じます。また、この4年間で陸上競技を通して様々な人と出会い関わりを持つことができました。この素晴らしい縁を大切にこれからの人生を歩んでいきたいと思っています。

最後になりますが上地先生、渡邊先生、先輩方、同期・後輩の皆さん、4年間という短い期間ではありましたがお世話になりました。本当にありがとうございました。

教育/スポーツ/投擲

ハンマー投・43m84 / 円盤投・28m71 / 砲丸投・9m17



樋口卓哉

自分は大学に入学当初は陸上部に入るつもりはありませんでした。高校で陸上をやっていた分大学では違うことをしたいと意気込みながら色んなところをめぐりましたが、陸上部の先輩からのお誘いに熱い気持ちがよみがえり陸上部に入部しました。同期の小野と今は辞めてしまいましたが今野との3人でなまった身体を叩きなおし、少しでも早く先輩たちに追いついて練習をして早く大会に出たいという気持ちで毎日を過ごしていました。そんな気持ちで望んでから4年間は一瞬だったように感じます。本当に色んな出会いがあり、先輩にも後輩にもそして同期にも迷惑をかけながらではありますがなんとかやってくることが出来ました。自分のやりたかったことがどれだけ出来たかと考えるとほとんど出来ずに終わってしまったように感じます。部活を辞めようと辛いこともありましたがそれでも部員みんなに励まされて、楽しい思い出もいっぱい作り、大学生活のほとんどを陸上部と共に過ごしてきました。陸上部があったからこそ自分の大学生活は充実したものになったと思います。悔いはありますが4年間培った語りつくせないほどのみなさんとの思い出がこれからの自分の糧になると思います。



来年度からは社会人になり、茨城を離れてしまいますが、みなさんとの思い出を思い出して笑って元気をもらいながら地元で頑張りたいと思います。これからも茨城大学のみなさんのご活躍が見られることだと思いますので、来年度会うときに恥ずかしくない姿で会えるように頑張ります。みなさんの更なるご活躍を期待しております。

工学部/メディア通信/中長距離

1500m・4分13秒06 / 5000m・15分38秒42

廣瀬未来

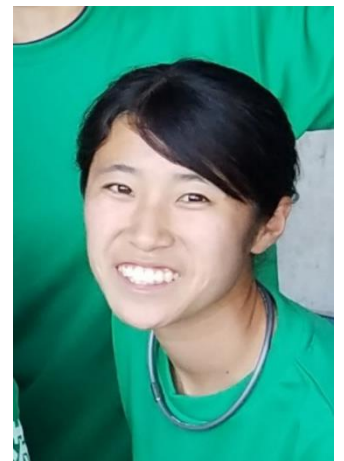
いよいよ自分が部誌の原稿を書く時がきたのかと思うとなんだか感慨深いです。4年間は本当にあっという間で、入学した時には想像もできなかった楽しかったことや悔しかったこと様々な思い出があります。多くの仲間に出会ったり、役職に就いてチームのことを考えたり、陸上部にいたからこそ成長できた部分や新たに得たことは多かったなと思います。

競技面は納得できた試合は少なく、記録も更新できませんでした。自分が思い描いていた通りに引退を迎えることは、とても難しいことなのだと実感しました。今競技をしている皆さんは自分の理想に近づくなど、後悔をしないように努力するチャンスがまだまだたくさんあります。目標が少し遠いなと感じていても、自分には無理だなんて思わないで1ミリでも可能性があるなら諦めないでほしいなと思います。部誌を読む人はなかなか少ないけれど、誰か一人でも読んで何か感じてくれたら嬉しいです。

最後に上地先生や渡邊先生をはじめ、たくさんの方にお世話になりました。大学での4年間は宝物です。4月からは、また新たな形で陸上競技と向き合っていきたいなと思います。皆さんの活躍を楽しみにしています。本当にありがとうございました。

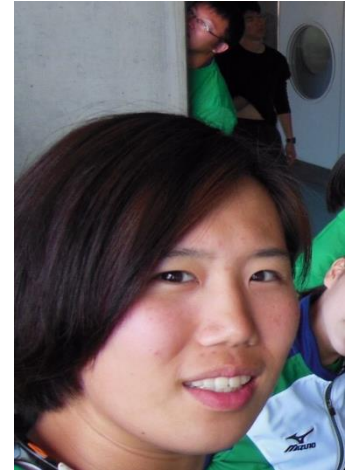
教育学部/健康/中長距離

800m・2分23秒50 / 1500m・4分44秒20 / 5000m・17分46秒03



古田映布

寒さも明け、桜の花も芽吹き始める今日この頃、私たち小野世代がそれぞれ新境地に歩き出す時を迎えます。自分の活躍に期待して入部した1年次から、引退を迎えるまで非常に長い濃い4年間を過ごしました。思い返してみると、大学4年間の陸上生活は、やりに向かっていった時間よりも、ブルーシートに向かっていった時間の方が長かったでしょう。しかし、そんな陸上生活を通して、多くの仲間に出会い、支え、支えられ、そして何よりも何度も自分に悩まされました。そんな濃い時間を過ごせたのも陸上部に入部したからであり、何よりも時間を費やしたからかもしれません。陸上というステージを終えた今、新しく自分が輝ける場所を探しております。陸上競技と出会ってから7年間、やり投げという存在に寄りかかってきたことに引退を迎えて気づかされました。寄りかかりつつも高めた経験値は確かなものであり、誇りであり自信の源であります。かつての私のように競技、人間関係、己の弱さなど、乗り越えられそうにない壁にぶつかっている人もいるでしょう。その壁は乗り越えても、乗り越えずに回り道をして、必ず自分の身になります。その選択に自信を持つには自分自身を信じるしかありません。病める時も健やかな時も自信のある自分を思い出していきましょう！今までは支えられてきた競技人生でしたが、これからはOB、いえOGとして煽って慕ってくれる後輩の競技を支えていきたいと思えます。



末筆になりますが、先生方をはじめ、競技人生を支えてくれた先輩方、同期、後輩達、両親、携わった全ての方に感謝申し上げます。今後の茨大陸上部の活躍をお祈りし、共に新境地へと向かう同輩の活躍を心待ちにしつつ、自分自身も精進してまいります。またどこかで昔話を笑って話せる日を楽しみにしています。

教育学部/保健体育/投擲

やり投・45m31 / 円盤投・31m16 / 砲丸投・8m94

増田梨沙

一生懸命になって前を追いかけていた日々がなくなってしまう、ちょっと寂しい気持ちで残りのわずかな学生生活を今私は過ごしています。今思えば、あつという間だったけどとても濃かった大学4年間でした。充実はしてしましたが、決して結果が出た4年間だったとは言えません。それはそれで問題なのですが、ここではそんな苦しい日が多かったのに、何が私の原動力だったのかについて伝えようと思えます。

やっぱり一番の原動力だったのは、陸上部のみんながいたからだと思えます。けがをしたときや調子が悪いときは先生や先輩、同期にたくさん相談しました。練習で苦しい時は、仲間の後ろ姿を追いかけたり迫ってくる足音を聞いたりして自分を奮い立たせました。試合で思うような記録が出ずに落ち込んでも、他の選手がいい記録を出せば一緒に喜びました。駅伝の応援は言うまでもないですが、いつも本当に力になりました。部活以外でも、ご飯を食べに行ったり遊びに行ったりして、私の生活はかなり陸上部で占められていた気がします。みんなの頑張りを見て、私も頑張らなきゃという気持ちになりました。私がここまで続けてこれたのもみんなのおかげです。何のために走っているのか時々わからなくなり、走ることが嫌になっても、結局これが一番の私の原動力だったんじゃないかなと思います。

厳しい毎日ではありましたが、とても幸せな場所で陸上競技を続けることができました。それは離れてみて改めて感じることもありました。もう過ぎた日々は決して戻ってこないの、現役部員のみんなには一日一日を仲間と共に大切に過ごしてほしいです。それと同時にこれからの私の教訓にもしたいと思えます。4限が終わってまっすぐグラウンドに向かい、暑い日も寒い日も走った日々は私の大切な思い出です。4年間皆さんありがとうございました！

人文学部/社会科/中長距離

1500m・5分0秒36 / 3000m・10分42秒42 / 5000m・18分52秒45



柰家弘樹

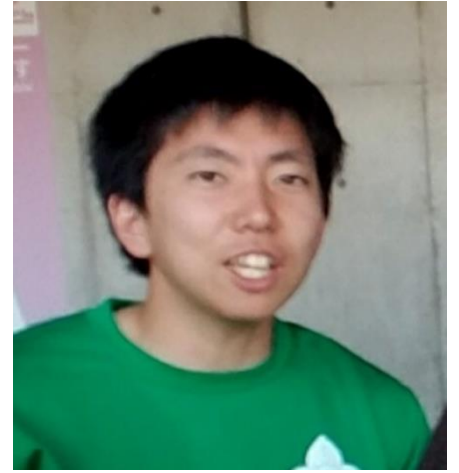
大学に入学してもう4年経ち卒業目前なんだな～と実感しています。私は茨城大学の大学院に進学し、陸上競技部に継続して所属する予定なので、2年後に同じように文章を書くことになることを想定し簡単に書かせていただきます。

陸上部に所属しているひとはみんな陸上が好きで、練習中ではドリル1つにしてもこだわりを持っていたり、練習が終われば好きなプロテインの味について討論していたりと話していて飽きない人たちの集まりだと個人的に思います。試合のときはチームメイトが自己ベストを更新すれば、自分のことのように嬉しいし、自分がベストを更新したら周りの人たちが祝福してくれる温かい部活です。2、3年生のときテスト期間のときは全体練習に行ってみんなと練習するだけで、テスト勉強のモチベーションを保つことが出来ていました(笑)

残り2年間しっかりと部に貢献できるよう精進しますので、上地先生、渡邊先生、後輩の皆さんよろしくお願いします。最後に春から社会人になる同期の皆さんの健闘・活躍を祈っています。

工学部/機械工/短距離

100m・10秒83 / 200m・21秒95



VI. OB/OG 近況報告・現役部員へのメッセージ

本圖理彦

みなさま、お久しぶりです。昨年、院を修了したハードラーの本圖です。とうとう私がこのメッセージを書く順番がきました！このコーナーは本当にためになるので、2006年度から過去全ての分を必ず読んでおきましょうね！部誌は茨大陸部の『超』貴重な財産です！

私は現在、都内の某メーカーのエンジニアとして働いています。世界の電力需要に応える壮大な仕事のため、やりがいもプレッシャーもあります。業務を遂行するためのあらゆるノウハウを日々必死になって、全力で学んでいます。一方でずっと憧れだった東京生活を満喫しています！車が空を飛んでいる訳ではありませんが、道を歩けばそれに近い感動はいつもあります。東京最高っ！！さてと、近況報告はこの辺にして、みなさまへのメッセージですね。私の経験から社会人として一言、茨大陸部のOBとして一言申し上げます。



まずは社会人として一言。職業人としてお金を稼ぐことはとても大変ということをお心しておいて下さい。今のみなさまの職業は『学生』です。バイトは重要な社会経験ですが、やはりバイトなのです。学生は社会的に守られています。試験で誤答しても、研究でデータを取り損なっても、部活で肉離れしても、バイトで皿を割っても、基本的にはその時自分が怒られて終わりです。しかし、会社における自分のあらゆるミスは会社のミスとして扱われます。取引先を含め、自分以外の多くの人に影響を与えかねません。そんな重責を負って多くの人が働いています。自覚しているかはともかく。学生と社会人の本質的な違いはこの辺りにあると思います。とはいえ、やりがいも存分にあるので、楽しみにして下さい！

次に茨大陸部のOBとして一言。3年次で何か一つでも仲間と語れる思い出を作して下さい。過ぎた方は3年次の経験をよく振り返って下さい。『3年次』です。4年間の中で最も部活に真摯に向き合える瞬間は陸部の核となって主体的に動く3年次なのです。競技でも人間関係でも何でもアリです。仲間との思い出は社会で生き抜く力になりますよ。

みなさま、茨大陸部はたくさんの可能性を秘めたコミュニティです。実に多様性に富んだメンバーが集まります。6年間の在籍で痛感しています。部員一人ひとりの考えに敬意を払って、自らの人間力を磨いて下さい。OBとして茨大陸部の繁栄を心から応援しています。

理工学研究科/電子電子工学/短距離

110mH・15秒33

安田萌

2016年度に大学院を修了した安田萌です。現在は県内の公立高校で講師をしています。教科は福祉です。幸運なことに陸上競技部の顧問をやっていますが、部員が1人いるかいないかの不定期開催の部のため、毎日のようにジャージを着ることも体を動かすこともなくなり、定期的に腰痛や節々の痛みで悩まされています。

社会人1年目は、話に聞いていたものとは少し違いました。仕事はそれなりですが、周りの人に恵まれ、最近の週末は職場の先生方と雪山に出掛ける楽しい日々を送っています。そんな楽しい1年を通して考えたことが2つあります。

1つ目は、学生時代にもっと勉強しておけばよかったということです。授業はもちろんですが、それ以外の時間を陸上競技や興味のあること、スキルアップにもっと使えたのではないかと思います。社会に出れば、学生が遊びの合間を縫ってバイトする何倍もお金がもらえます。時間も作ろうと思えば作れます。つまり、大人になってからいくらでも遊べます。そう考えたら、自由に時間の使える学生時代にすべきことは遊びやバイトよりもっと大事なものはあるのではないかと思います。私の場合は、ですが。

2つ目は、茨城大学陸上競技部がいかに恵まれた環境であったかということです。大人数が集まって、自分と他者と向き合わなくてはならないのですから、苦しさや不満はもちろんあると思います。それは、なりたい自分があるから、チームとして1つの大きな目標に向かっていこうとする環境があるからこそ生じるものです。その経験から得るものは非常に大きく、必ず自分の力になり、これからも必ずどこかで生きてくると思っています。

自分の周りの小さなコミュニティにとどまることなく、他種目、他ブロック、他大学、それ以外にも広く目を向けて、充実した学生生活、競技生活を送ってください。

最後になりましたが、茨城大学陸上競技部の活躍を心から祈っています。頑張ってください。

教育学研究科/保健体育/投擲

やり投げ・42m96 / 円盤投・34m18 / 砲丸投・8m82 / ハンマー投・23m37



渡辺綾乃

お久しぶりです。渡辺綾乃です。茨大陸上部の皆さんお元気ですか？私は今、茨城大からすぐ近くの、国田義務教育学校で教員をしています。たまに、大興に出現します。声かけづらいと思いますが、話しかけてくださるととても喜ぶますのでよろしくお願ひします。

最近思うことは、1年は本当にあっという間だなということです。上手いかなくても、理不尽でも、挫けても、辛くても、もう腹くくって前を向いて進むしか、道はないのだな、と。時間は待つてはくれないし、止まってることすら許されないのだな、と。つまんないことも、しょもないことも、この人わけわからん、と思うことも、これからたくさんあります。私は学びました。でも、進むしかない。なんて、偉そうなことを言っていますけれども、私もまだまだで、これからもたくさん、最高の失敗をしていきたいと思っています。

最後になりますが、この場で報告します。結婚します。笑

教育学研究科/保健体育/短距離

100m・14秒13



荒井芽衣 「駆け抜けた1年」

後輩のみなさん、お元気ですか？私は現在、福島県喜多方市立姥堂小学校の保健室の先生として、44名の可愛い子どもたちと生活しています。子どもたちには「めい先生〜！」と呼ばれ、保健室の来室理由は「一緒に遊びましょう！」がナンバーワンです。（もちろん怪我の処置もきちんとしていますよ！）そんな風にして、社会に出るまでは想像もできなかった楽しい日々を過ごさせてもらっています。正直、社会人になる前は自分が養護教諭として働くことができるのか、教員採用試験に合格したといっても全く自信が持てず、不安の日々でした。しかし、勤務校の先生方はあたたかい方ばかりで、分からないことはいつでも丁寧に教えてくださいます。世の中最初から何でもできる人なんていないわけで（車の運転も危なっかしかったのに、今では雪道もぶんぶん走っています！）、不思議なことに困ったときは必ずと言っていいほど手を差し伸べてくれる人がいるんですよ。そういえば大学の4年間もそうだったなあなんてたまに思い出します。



小学校では、学校保健の仕事の他にも、給食主任、清掃主任、朝マラソン担当などなど、いろいろな仕事を任されています。1年目とはいえ、とても小さな学校なので1人の先生に任される仕事がたくさんです。4月、校務文章に自分の名前が20個くらいあってびっくりしたのを覚えています。しかし、こんな私でもなんとか1年目の終わりを迎えようとしています。だからみなさん、これから新しい世界に飛び込んでいく人もいれば、新しいことにチャレンジする人もいるかもしれません。そんな時、必要以上に不安にならなくてもいいのかなって今なら思います。希望を持って、明るい気持ちで、前に進んで行って欲しいなと思います。

私は大学を卒業した今でも陸上を続けています。まさか自分が続けるなんて思っていなかったのですが、喜多方の駅伝チームに所属し、3000mでは大学の自己ベストを塗り替えてしまいました。5000mでも自己ベストに近い記録を出して、ふくしま駅伝という市町村対校駅伝大会では花の1区を任されました。この時は、姥堂小学校の先生方や子どもたちも現地まで応援に来てくれたり、テレビでも放映されるので大会の次の日からは保護者の方や教育委員会の方まで、声をかけてくれたり、お手紙を送ってくださる方もいて、とても嬉しかったです。その他、ロードレース等で賞状をもらおうと、学校で子どもたちと一緒に表彰していただくなど、前代未聞の養護教諭となっています。でも、なんだか私らしいのかな。私の姿を見て、「自分もがんばろう」と思ってくれる子どもが1人でも増えてくれれば良いなと思います。

また、陸上だけではなく、仕事をしながら学会で卒論を発表したり、1年間の学校での取り組みを研究としてまとめ、ありがたいことに奨励賞をいただいたり、いろいろなことに挑戦し、ほんとに濃い1年間を過ごしたなと思います。でも、私1人ではこんなに充実した日々を過ごすことはできていませんでした。たくさんのお逢いがあり、たくさんの人に支えられてこそ得られた1年。私にとってかけがえのない、忘れられない日々になりました。

みなさんもこれからたくさんのお逢いがあります。そのひとつひとつを大切に、虹色の日々を過ごしてください。陰ながら、私はいつまでもみなさんのことを応援しています。何かあればいつでもお話聴くので連絡してくださいね。

教育学部/養護教諭/中長距離

800m・2分26秒63 / 1500m・4分53秒08 / 3000m・10分35秒36 / 5000m・18分38秒00

小澤晃太郎

みなさんお久しぶりです。昨年度卒業した小澤晃太郎です。現在は日立のほうで毎日修行しております。私が今一番思うことは、大学時代にもっと自分の軸になるようなものを作っておくべきだったととても感じています。そのためにも時間があるうちに、友達と遊んでみたり、たまには一人で旅行のようなものをしてみたり、図書館に行き知識を増やす時間を作ってみたり様々な経験を大学生のときにしてほしいと思います。

茨城大学陸上競技部のますますのご活躍を心より応援しています。

教育学部/保健体育/中長距離

800m・1分55秒0 / 1500m・4分10秒31 / 5000m・15分49秒14



菊池直人 「振り返ってみて」

茨城大学を卒業し、働くようになってからもう1年が経とうとしていて、時の流れの早さを実感しています。私の社会人1年目は学んだり、気付いたりすることだらけで、気づいたらもう1年か、といった感じです。

働き始めるまでは、仕事しながら陸上を続けていけたらいいな、と考えていましたが、仕事が終わる頃には走る元気なんて残っていませんでした(笑)それでも休日などを利用して走り、12月にはハーフマラソンを無事完走しました。その翌日の仕事は階段が登れず同僚に笑われましたが……これから少しずつ走る量を増やして、勝田マラソンにももう1度挑戦してみたいです。

後輩の皆さんには、働くことは何だかんだ楽しい！ということを伝えたいです。学生の頃は、1日8時間も働くななんて無理！と考えていましたが、やってみると案外あっさり終わってしまうし、何より自分で使えるお金が増えるのはとても良いことだと思います。なのでこれから社会人になる皆さんは、働くことを不安がらず、むしろ楽しみにして学生生活を送ってもらいたいです。勉強して、走って跳んで投げて、遊んで、素敵な社会人になった皆さんとまた会えたらいいな、と思っています。

教育学部/保健体育/中長距離

800m・1分55秒88 / 1500m・4分02秒26 / 5000m・16分07秒48



木村大介

皆さん、ご無沙汰しております。昨年度引退しました木村大介です。引退して一年が経つと考えると時の流れの早さを感じます。現在も私は茨大生として、大学に通う日々を過ごしています。卒論の終わりがみえてきたところで、長い長い大学生活を終えようとしています。そしてようやく来年から社会人になることができます。

さて、皆さんは大学生活の一部として部活をしている日々をどのように感じているでしょうか。私はこの一年間、大学に入ってはじめて部活のない大学生活を送りました（特殊な例です）。時間的な余裕は前よりもあったものの、物足りなさを感じていました。今振り返ると、部活をしていた頃は時間的な余裕は感じられなかったものの、充実した日々が送れていたことを改めて感じました。皆さんも後になって振り返ったとき、おそらく部活をしていた日々が充実していたと感じると思います。ですから、今皆さんが過ごしている日々が充実していると思うので、一日一日を大切に、さらにより良くできるようにしてください。そして、単位はしっかり取ってください。

最後になりますが、今後も大会の応援に行きたいと思っています。そのときは声をかけていただくと嬉しいです。これからの茨城大学陸上競技部のご活躍を心より祈っています。

工学部/機械工/跳躍

十種競技・5291点



渋谷弥生

皆さんお久しぶりです。昨年卒業いたしました、渋谷弥生です。私は卒業後実家へ戻り、某商工会議所で働いています。商工会議所で何してんの、とよく言われるので、簡単に説明いたしますと、市内のありとあらゆる会社のご意見を集め、国・県・市に、空港に国際線をもっと飛ばしてほしいとか高速道路を整備してとかの要望を代表して届けたり、ねぶた祭りや冬祭りなどを主催し地域の活性化を図ったり、そろばんや簿記の検定試験をやったり、社長の経営相談に乗ったりと色々地域のために尽力しているのが商工会議所です。そんなところで社会人1年目を過ごし、感じたことを3つ紹介します。①会社では、誰かがミスしても、他の人がすかさずフォローして何事もなかったかのように仕事を遂行します。ミスしてこれを感じたとき、私は部活のスタッフのときにそれぞれの仕事をそれぞれでやり、任せきりにしていた自分を思い出しました。フォローしてくれるのは優しいからではなく、そうしないと会社が回らないから。1人ではなく全員が協力する大切さを実感しました。②エレベーター・タクシー・会議室などの上座は覚えてから社会に出ると楽だと思います。特にエレベーターとタクシーは知っておくことをお勧めします。私の会社は5階にあるので、いつもすかさずボタンの前に滑り込んでいます。③頭ではわかっている、敬語って使い慣れていないと出てこないものです。「かしこまりました・～でございます・少々お待ちください」など、私は最初まったく使えませんでした。「電話対応 敬語」でググって覚えておくと、社会に出たときまた楽になると思います。

私は土日祝休みなので、休みの日はたまに青森から出て遊びに行っています。でも大学の時ほどの自由さに比べたら物足りないですね。旅行とか、平日みんなで遊ぶとか、ぜひ今やるべきです。たくさん遊んでください。私の上司が言っていました、「22歳か、人生まだまだこれからだな」と。また、営業先の社長さんが言っていました、「若いっていうのは、本当に何でもできるんだよ」と。皆さんの人生が素敵なものでありますように。

人文学部/人文コミュニケーション/中長距離

800m・2分41秒48 / 1500m・5分32秒82



鈴木杏奈

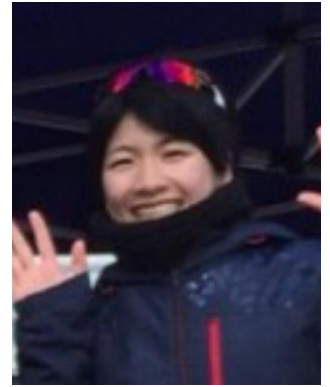
みなさん、お久しぶりです。昨年度卒業しました鈴木杏奈です。時間が経つのは早いもので、茨城大学を卒業して1年が経とうとしています。現在私は、茨城県筑西市の小学校で3年生の担任をしています。見知らぬ土地、大学生から社会人という変化に最初はついていくことができず、新生活がスタートして3日間くらいで、教員の仕事にとっても不安を感じ、「転職したい」と嘆いていました(笑)今では徐々に仕事を覚え、周りの先生方に後れを取らないように奮闘している毎日です。

さて、みなさんは何を目標として陸上に取り組んでいますか? インカレに出る、自己ベストを出す、あいつにだけは絶対に負けない! と何かしら目標を持っているのではないかなと思います。私は陸上を引退してから、自分は何を目標としてこれから進んでいけばいいのかわからなくなってしまい、悶々としたまま社会人を迎えてしまいました。もちろん世の中の人全てが目標をもって生活しているわけではありません。しかし、目標を持つことによって、自分自身を見つめ直すことができるのではないかなと。どんな小さな目標でもいい、目標を達成することによって自分自身にも自信を持てるようになっていくと思います。私事ですが、去年の7月からキックボクシングを始めました。最初は身体を絞るために始めたのですが、練習をしているうちにやるなら上を目指したいと思い、試合に出場するという目標を立て、トレーニングに励んでいます。

職場の先生方に、大学4年間は陸上に捧げてきたという話をすると、「もったいない! 大学は遊んでなんぼでしょ〜!」とよく言われます。でも私は、大学での陸上生活が、今の自分を作り上げたと思っています。ひたすら陸上の事だけを考え、仲間と辛い練習をして、ぶつかって、そんな生活は大学でしかできません。大学での4年間の経験は、必ずみなさんの人生の糧になります。充実した大学生活、陸上生活を送ってください! 応援しています。

教育学部/保健体育/短距離

200m・26秒02 / 400m・58秒62



高野美幸

皆さんお久しぶりです。私は現在ラフィネという会社で実業団として陸上を続けています。卒業してからあっという間の一年間だったかなと思います。社会人になって失敗することも沢山あり、勤務もしながら陸上もやっていると毎日ですが、なんだかんだ充実した日々を送っています。陸上部としては、活動していますが、個人のレースの方が多く、大学時とは少し違った形で走ることを続けています。

今思うことは、私は皆と陸上競技をしていることがとても好きでした。茨城大学というチームで、対校戦において皆で一つでも上の順位を目指して練習して、大会に出てということが、今の私にとってすごく大切な思い出です。ただ、その時間は限られていて、いつかは終わってしまいます。なので皆さんにはその時間を大切にしてください。この四年間は本当に楽しんでください!

最後になりますが、皆さんの活躍を祈っております。

教育学部/健康/中長距離

1500m・4分47秒58 / 5000m・17分30秒71 / 3000mSC・11分24秒53



長谷川大輔

昨年度学部を卒業し、現在は大学院の修士課程に在籍している長谷川大輔です。今は陸上部に所属していませんが、みなさんが練習しているグラウンドを使わせてもらったり、たまに練習に混ぜてもらったり、大会では陣地を使わせてもらったり、さらには応援までしてもらったりと本当に部員の皆さんには感謝しています。ありがとうございます。

大学院に進学しても結局また走り始め、トラックレースとかロードレースにも出ていました。ちゃんとポイント練習もやっています。初めて学校のトラックで70周くらい走る練習もしていました。そんな感じで、練習は1人でやっていて、しかも長距離なので道具の準備もないので、練習計画も立てやすく、短い時間でもけっこう集中して練習出来ています。これはこれでありだと思っています。

ただ部活と大きく違うことはどんなにきつい練習をやり切っても、レースの結果が良くても、1人でやっているとそれを誰とも共有できないところだと思いました。チームで練習していればきついメニューをやり切った時の達成感とか、自分や仲間がレースで勝つたり自己ベストが出たりした嬉しさとかを一緒に分かち合うことが出来ます。これがチームでやっている楽しい部分だと思います。大変なことも多くあると思いますが、せっかく部活で競技を続けるのだからチームでやるプラスな面を大切にしてほしいと思います。

2017年シーズンはもともと遅かった事もありますがフルマラソンの自己ベストを20分くらい更新出来ました。今年は2時間50分を切って走りたいなあとと思っています。あと1年間大学にいますのでみなさんに色々なところでお世話になるかと思しますのでよろしくをお願いします。

理学部/地球環境/中長距離

1500m・4分20秒85 / 5000m・16分25秒59



平塚悠太

皆さんお久しぶりです。2017年度も茨大陸上部が出場する様々な大会にお邪魔させていただき、院生の先輩や後輩の活躍を見ることができました。また、メーリスやSNSを通して競技結果を見る度に、自分も頑張らなくてはと元気もらっています。

私は、某鉄道会社で保線という仕事をしています。保線とは、簡単に言えば線路の管理をする仕事です。徐々に仕事も任されるようになり、残業も増えてきて、社会人の大変さを痛感しています。仕事では上司に自分のやりたい事を伝えたり、資料を調べて理論的に説明したりしなくてはなりません。業務に関する知識がほとんどない私は、上司に説明するのが嫌で、「説明はまだか？」とよく怒られています(笑) 皆さんもそのような経験ありますよね…? 皆さんも、日々の生活の中で「嫌だなあ、やりたくないなあ」と思うことが多々あると思います。人間、自分が知らないことには自信が持てず、やりたくないと思うものです。逆を言えば、物事の本質を知り、知識を得ることは自分にとって大きな力になるということです。面倒な事ではあると思いますが、学生のうちから知らないことは自分で調べ、理論的に物事を考えるという癖を付けておいて損はないと思います。

加えて、社会人になると本当に長期休暇を取ることが難しくなります!!! 2ヶ月も貰える長期休暇は是非有効活用してください。社会人になってから後悔することは簡単ですが、忙しさを感じる事が少ない学生時代に、長期休暇の大切さや意味を理解できる人は少ないのではないかと思います。また、皆さんはその大切な時間を部活動に費やしていますよね? 長期休暇の使い方に正解はありませんが、後悔のない学生生活をお過ごしください。(偉そうな事を言ってしまうすみません…)

最後になりましたが、来シーズンも皆さんの活躍と茨大陸上部の更なる発展を楽しみにしています。

工学部/都市システム/中長距離

800m・2分02秒01 / 1500m・4分05秒27 / 5000m・15分47秒59 / 3000mSC・9分58秒03



藤井駿丞

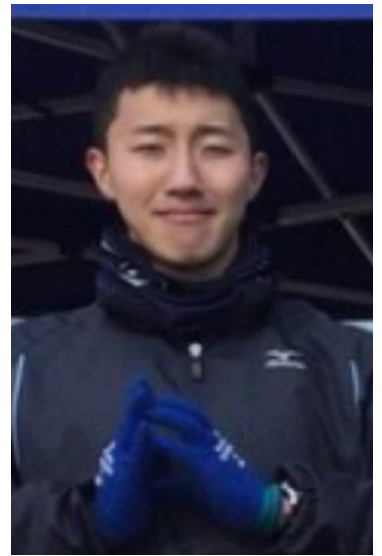
ご無沙汰しております。昨年度卒業しました藤井です。現在は鉄道会社に就職し、日々の業務に努めております。運動に関しては、特に団体に所属しているわけではありませんが、運動不足解消程度で、時折同期の平塚さんと一緒にジョギングを嗜んでおります。

“光陰矢の如し”という言葉があるように、卒業してから今に至るまでの月日は本当にあっという間に過ぎてしまいました。…ということで、現在大学で陸上競技をしている皆さんも、卒業を迎える頃にはきっと「あっという間だったなあ。」と感ずることでしょう。耳にたこができるわっ！！というくらい聞いたことのある話にはなっていますが、1日1日の練習や生活は大切にかつ後悔の無いように過ごしていただきたいなと思います。引退した際に今までの自分の歩みを振り返って、「本当によく頑張った。」と誇りを持てるような陸上生活となることを願っております。

ホームページ等で大会結果を拝見するのを楽しみにしておりますので、各々の目標に向かって陸上競技を頑張ってください。私も腹筋ローラーによる脂肪との闘いを頑張っていきたいと思えます。皆さんのご活躍を祈っております。

人文学部/人文コミュニケーション/中長距離

5000m・15分40秒07/10000m・33分14秒83/フルマラソン・2時間54分13秒



堀尾佳希

茨城大学陸上競技部を引退し、一年が経ちました。現在は東京消防庁の消防吏員として、渋谷で働いています。

東京消防庁の消防職員となることは、中学生の頃からの夢でした。そのことを今でもふと思えば、なんとなく鳥肌が立ちます。辛いことも多いですが、自分の長年の夢だったことが、もっと頑張らなければいけないなという気持ちにさせてくれます。

このような皆さんへのメッセージを書く機会を与えていただけたので、一つだけ伝えたい言葉があります。

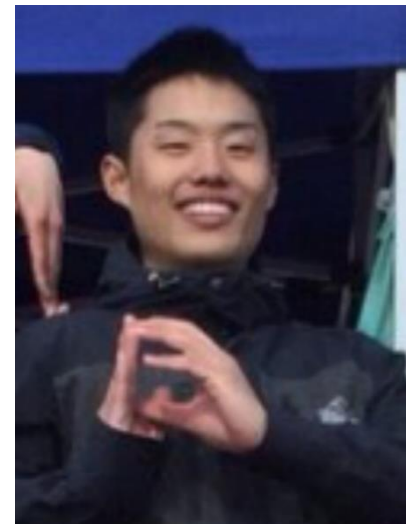
それは、「反省はしても、後悔はするな」という言葉です。私自身、この言葉を高校の担任の先生にいただきました。失敗を反省し、これからの行動や考えを変えて次に活かすことはとても有意義だと思います。しかし、もっとああしとけばよかった等という後悔は本当に無意味です。

陸上競技は思うように記録が出ないことが何回もあると思いますが、その度に改善点をしっかり考えて次につなげていけばきっといい記録が出ると思います。そして、普段の練習や生活で未来の自分が後悔するだろうなと思うことはしない、今を全力で生きるということを意識してみてください！それは社会でも必ず生きてきます！

ではまたお会いしましょう。

工学部/都市システム/跳躍

棒高跳・4m50/十種競技・5456点



宮本秀斗

陸上競技部の皆さんお久しぶりです。現在インフル明けで咳が残っている感じで書いています。自分が大学を卒業して1年がたち、後輩たちと智哉とキムが卒業かと思うとあつという間だったなあと感じます。私は今年度、小学校の非常勤講師、プールの監視員、中学校の常勤講師と3つの職業・職場を経験しました。現在の中学校では男子バレーボール部の顧問をしています。球技が苦手で、なかでも特にバレーが苦手だった私にとって指導は大変ですが、なかなかうまくなりました(自分)。今はジャンプフロッターサーブに挑戦しています。ポイントはトスを上げてから踏み切ることとボールの中心にミートさせることです。さて、今年度は様々な場所を渡り歩きましたが、「繋がり」とか「コネクション」がとても大切だと実感しました。どこに行っても誰かとつながっていて、本当に驚きました。そのことから、さらに繋がりが広がるなどとても助けになりました。出張先で渡邊先生と一緒に仕事をされている教授の指導を受けたり、佳希とキムの知り合いとプール監視したりなど考えてもみなかったようなことが、たくさんありました。だから皆さんには、せっかく集まった仲間ですから、今の繋がりを大切にしてほしいです。もちろんそれぞれ過去にお世話になった人との繋がりも。私もなかなか同期や先輩・後輩と遊んだり、練習したりできないので、もっとしたいです。仲間と陸上やれることを是非楽しんでください。それがきつと後々役に立ちます。



最後に私事ですが、陸上競技を細々と続けています(特に村山靖真先輩と)。まだまだ自分の記録に挑戦しようと思います。今年度も後輩たちががんばっている姿や結果を見て、私も奮い立ちました。本当にありがとうございました。これからも一緒に頑張りますよ!! 茨城大学陸上競技部の活躍を祈っています。

教育学部/保健体育/短距離

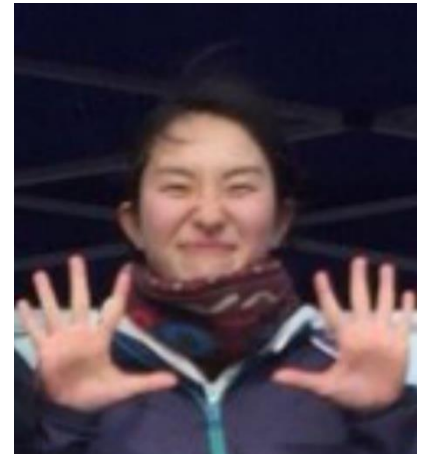
100m・10秒95 / 200m・21秒95 / 400m・48秒48

宮本蘭子

こんにちは。

はじめに、皆さん、勝田マラソンのときは応援していただきありがとうございました。おかげさまで、昨年度よりも45分記録を更新することができました。昨年度立てた「マラソンを生涯スポーツに」という目標は、これからも継続していきます。卒業する4年生もまた来年一緒に出られたらうれしいです。

皆さんもご存知の通り、私は大学にはいますが、部活には所属せず、茨苑ACに所属しています。この1年ほど「継続は力なり」を実感した年はなかったです(いい意味でも、悪い意味でも)。時には悩むこともあると思いますが、部活の仲間と練習できる時間を大切にしてください。気づけばもう2月で、シーズンインが迫ってきています! 私はまだまだ準備不足ですが、お互いに怪我なく、充実したシーズンを送りたいですね。「継続は力なり」ということで、またグラウンドで会いましょ~!



教育学部/保健体育/跳躍

走高跳・1m50 / 三段跳・10m57

柳町直 「陸上部を振り返って」

龍ヶ崎市で小学校の教師をしています。もう1年になると考えるととても早く感じます。

10年ぶりの箱根駅伝予選会出場、荒川駅伝を始めたくさんの駅伝大会、長距離としては続けていくことができ嬉しい出来事が多かったです。同期のたくさんのメンバーに支えられて辛いときも何とか4年間続けていくことができました。

自分の5000mの自己ベストは高校のときで、その記録を超えられず、苦しんだ4年間でもありました。しかし、大切なことは諦めずに走り続けることだと思います。社会人になり、この1年はいろいろなことがありました。うまくいかないことがほとんどです。でも、どんなことがあっても4年間やってきたということが自信になるし、挑戦していけば何かが変わるのかなというように考えて日々仕事をしています。

もう一つ、社会人になってから考えることがあります。それは、責任のある立場に立つことです。このことが学生の時と全く違うことだと感じました。学生の時は、スタッフの学年になってもブロック長や、主将などの責任のある立場にはなっていませんでした。しかし、そのような経験しておくべきだと強く思います。メンバーを強くする、後輩を成長させるにはどうしていくか、どのような策を打っていくか。どのような練習メニューをするか。どの大学（チーム）と練習するか。どのような環境を設定するか。すべて、今の学校での子供たちとの学級経営につながっています。確信を持って言えます。学生の時は、勉強をしてメニューを作ったり、先生と相談したりするのは大変そうだなと思っていましたが、やっておくべきだったと後悔しています。今のブロック長さんは大変でも辛くても必ず身になるときが来ます。頑張れ。私の場合は、当時ブロック長の山本君、後輩の小野の引っ張っていく動きや、他大との繋がり、明確な目標を立てていくことなどを見て、そして近くで感じていたからこそ、今、参考にして頑張ることができています。

まだまだ1年目ですが、学生時代の経験が自分を作っているのだと実感することがとても多いです。現役の選手の皆さんは大学の生活を大切に、たくさんチャレンジしてください

教育学部/保健体育/中長距離

1500m・4分24秒32 / 3000m・9分20秒53 / 5000m・16分20秒53



山本智晴

時間の経過が早く感じると共に身体の衰えも日々ヒシヒシと感じる年頃になってきた山本智晴です。私が卒業し1年が経とうとしていますが、皆さんいかがお過ごしでしょうか。

現在私は、都内のIT企業でSEとしてシステムの開発を行なっています。正直「これは一体何をやってるんだ！意味不明！！」のようなことがまだまだ多く、学ぶことしかない毎日を送っています。大学時の10倍は机に向かい勉強している気がします。大変な毎日ではありますがその一方で、知識が身に付き技術を習得していることに充実を感じています。

さて、本来ならばここからありがた〜いアドバイスをしなくてはならないところですが、社会人として若輩者な私から皆さんにアドバイスするのは恐縮ですので、1つ私が社会人になって自分のについて考えさせられた体験談をお話し致します。

私の地元の友達がこんな相談を持ちかけてきました。「地元で某男性アイドルユニット(ご当地アイドル)に所属しないかと誘われているのだが、東京に出て本気で歌手を目指したい気持ちもある。どちらを選択すればいいのだろうか。」結論から言わせてこの友達は東京に出ることを選びました。地元に残れば成功が約束され、認知度もとてもあるような存在になれる。だが、精々地元止まり。東京に出ればバイトを行いながら路上ライブからスタートし、成功する人はほんの一握りのハイリスクな世界への挑戦。決めてとなったことは「ハイリスクをリカバーできる今の若い自分だからこそ、夢を追いかけて挑戦をしていきたい」というものでした。そこにはただのビジョンだけではなく、30歳までに出来なかったら地元に戻るという「リミット」と、出来なかった場合に地元でこういう仕事を行うという「リアル」を持っていました。この相談を受けたあと私は自分の現状について考え直しました。「自分の挑戦とは何なのか」「与えられた環境で満足し一つ上の高みを掴もうとしていないのではないか」この相談をきっかけに自分の中での仕事に関する意識も大きく変化していきました。

皆さんは今の自分の現状に対してどう考えていますか。普段何気なく生活しているだけでは本当の自分の現状や目指すべき場所はなかなか見えてこないと思います。この話を機に皆さんの中で少しでも自分自身について考えて頂ければ幸いです。

最後になりますが、茨城大学陸上競技部の発展と、皆さんの成長を期待して、OBからの言葉とさせていただきます。

理学部/数学/中長距離

1500m・4分10秒45 / 5000m・15分45秒30 / 3000mSC・9分53秒41



VII. 記録集

茨大記録 【男子】

種目	氏名	記録	期日	大会名	会場
100m	杉崎 弘周	10.51(+1.9)	1998/9/11	日本インカレ	国立競技場
200m	伊藤 太一	21.14(0.0)	2011/9/11	日本インカレ	KKWING
400m	今村 明彦	48.06	1994/9/9	日本インカレ	国立競技場
800m	今井 英明	1.53.9	1990/4/7	学連競技会	筑波
1500m	秋山 陽祐	3.56.42	2007/9/15	関東新人	国立競技場
3000m	小野 隼太	8.38.17	2016/4/2	世田谷記録会	世田谷
5000m	小野 隼太	14.43.80	2017/12/23	松戸市記録会	松戸
10000m	秋山 陽祐	30.35.03	2007/12/22	松戸記録会	松戸
110mH	星 耕平	14.88(+1.8)	2014/10/25	国公立 24 大学	宇都宮
400mH	神尾 伸也	52.53	1994/8/23	関東選手権	笠松
3000mSC	小野 隼太	9.06.71	2017/5/26	関東インカレ	日産
5000mW	小向 瑞樹	24.40.48	2009/8/24	国公立 22 大学	千葉県総合
10000mW	小向 瑞樹	49.38.28	2010/5/16	関東インカレ	国立競技場
4×100mR	伊藤(林)・伊藤(太)・李家・沖崎	40.49	2015/8/8	順大記録会	順天堂大学
4×200mR	浅井・佐藤・大久保・神尾	1.27.38	1995/5/28	リレー選手権	笠松
4×400mR	開・上杉・山本・和田	3.14.60	2008/5/25	関東インカレ	国立競技場
4×800mR	中村・飯塚・林・神尾	7.54.72	1994/5/29	リレー選手権	笠松
4×1500mR	滝沢・根本・千葉・金沢	16.38.08	1981/4/18	リレー選手権	笠松
スウェーデン R	浅井・成石・大久保・岡	1.57.44	1996/5/26	リレー選手権	笠松
走高跳	小沼 祐希	2m03	2017/9/15	国公立 26 大学	正田醤油
棒高跳	岡山 進也	4m90	2001/5/26	リレー選手権	笠松
走幅跳	佐藤 良雄	7m09	1958/7/19	茨城県選手権	土浦
三段跳	吉野 学	14m81(+1.6)	2005/5/13	関東インカレ	国立競技場
砲丸投	海老原大輔	15m02	2005/8/20	関東選手権	敷島
円盤投	中浦 凌馬	41m77	2016/10/30	北関東五大学	正田醤油
ハンマー投	小林 朋寛	47m61	2013/8/3	千葉対校	笠松
やり投	中浦 凌馬	71m93	2017/05/27	関東インカレ	日産
十種競技	渡邊 将司	6676 点	1999/7/17・18	栃木県選手権	宇都宮
5km	富井 一仁	16.18	2011/2/20	結城シルクカップ	結城
10km	千葉 雅昭	31.20	1981/2/11	勝田マラソン	ひたちなか
20km	渡辺 雄馬	1:03.29	2006/10/21	箱根駅伝予選会	昭和記念公園
30km	鈴木徳次郎	1:41.12	1973/2/17	青梅マラソン	青梅
ハーフマラソン	小野 隼太	1:09.20	2017/3/5	日本学生ハーフ	昭和記念公園
マラソン	秋山 陽祐	2:24.46	2008/1/27	勝田マラソン	ひたちなか

茨大記録 【女子】

種目	氏名	記録(風速)	期日	大会名	会場
100m	鈴木 麻理	12.10(+0.8)	2010/10/24	北関東五大学	宇都宮
200m	鈴木 麻理	24.52(+0.1)	2010/10/24	北関東五大学	宇都宮
400m	肥田埜里枝	56.04	2013/8/10	N.S.S.U オープン	日体大
800m	石澤ゆかり	2.10.95	2010/9/26	国公立 22 大学	三ツ沢
1500m	野田 春香	4.33.51	2007/9/28	国公立 22 大学	緑が丘
3000m	石澤ゆかり	9.41.49	2010/11/20	日体大競技会	日体大
5000m	野田 春香	16.28.82	2008/7/13	ホクレンディスタンス	北海道
10000m	黒澤 夏楠	33.35.75	2013/11/23	10000m 記録挑戦競技会	国立競技場
100mH	石川ちひろ	14.07(+1.5)	2006/6/10	日本インカレ	日産スタジアム
400mH	石川ちひろ	61.34	2005/9/18	国公立 22 大学	国立競技場
3000msc	高野 美幸	11.24.53	2015/7/4	茨城県選手権	笠松
4×100mR	酒井・山口・鈴木(麻)・肥田埜	47.67	2012/7/5	茨城県選手権	小吹
4×200mR	黒川・大内・長谷川・呉	1.48.72	1994/5/29	リレー選手権	笠松
4×400mR	林田・鈴木(麻)・肥田埜・小島	3.49.50	2012/9/9	日本インカレ	国立競技場
4×800mR	深谷・飯嶋・小林・柴	9.42.31	1994/5/29	リレー選手権	笠松
スウェーデン R	黒川・呉・長谷川・柴	2.22.05	1994/5/29	リレー選手権	笠松
走高跳	森 あゆ美	1m73	2008/8/26	関東甲信越	熊谷
棒高跳	山内 裕香	3m52	2012/7/6	茨城県選手権	小吹
走幅跳	山口 真未	5m81(-1.3)	2013/8/10	N.S.S.U オープン	日体大
三段跳	遠藤 園子	12m80(+0.7)	2013/10/14	国公立 23 大学	町田
砲丸投	神山 結衣	12m52	2017/6/4	栃木県選手権	宇都宮
円盤投	梅原 由香	45m84	1997/8/23	国体予選	笠松
ハンマー投	弓削真理子	51m33	2010/5/3	日体大競技会	日体大
やり投	島田 夏純	48m78	2016/10/30	北関東五大学	正田醤油
七種競技	山口 真未	4934 点	2013/9/6・7	日本インカレ	国立競技場
10km	野田 春香	34.16	2008/1/27	勝田マラソン	ひたちなか
ハーフマラソン	黒澤 夏楠	1:14.06	2013/3/17	まつえレディース	島根
フルマラソン	野田 春香	2:42.19	2009/1/25	勝田マラソン	ひたちなか

2017 年度ランキング

【男子】

種目	順位	氏名	記録
100m	1	齋藤 海斗	10.96(+1.5)
		柰家 弘樹	10.96(+0.4)
	3	本吉 広武	11.23(-5.4)
200m	1	齋藤 海斗	21.80(+1.9)
	2	木村 優	22.47(+0.6)
	3	柰家 弘樹	22.48(+1.4)
400m	1	立林 和歩	50.1(手動)
	2	小林 柊次郎	51.0(手動)
	3	柰家 弘樹	51.79
800m	1	中島 佑介	1:59.09
	2	前川 凜太郎	1:59.61
	3	小久井 健将	2:01.59
1500m	1	小野 隼太	4:07.14
	2	前川 凜太郎	4:08.20
	3	伊藤 裕紀	4:08.95
5000m	1	小野 隼太	14:43.80
	2	半澤 裕太	15:49.46
	3	中島 康平	15:56.09
10000m	1	小野 隼太	31:04.42
	2	半澤 裕太	33:02.12
	3	前川 凜太郎	33:05.63
110mH	1	立林 和歩	14.92(0)
	2	住田 光駿	16.29(-0.1)
	3	小沼 祐希	16.30(+0.7)
400mH	1	本吉 広武	53.98
	2	川原 直之	55.90
	3	立林 和歩	57.54
3000mSC	1	小野 隼太	9:06.71
	2	中島 康平	9:37.68
	3	田村 元	9:46.54
4×100mR	1	木村(優)・齋藤・柰家・本吉	41.62
	2	木村(優)・齋藤・柰家・小林(柊)	42.16
	3	木村(優)・齋藤・本吉・小沼	43.22
4×400mR	1	柰家・川原・齋藤・立林	3:17.09
	2	小林(柊)・立林・木村(優)・本吉	3:18.47
	3	小林(柊)・本吉・木村(優)・伊藤(俊)	3:19.99
走高跳	1	小沼 祐希	2m03
	2	澁谷 惇徳	1m85
	3	木内 祥太	1m55
棒高跳	1	木内 智也	4m60
	2	小谷野 陽平	4m40
	3	高田 樹	4m30
走幅跳	1	木内 祥太	6m51(-1.0)
	2	高田 樹	6m46(+1.2)
	3	大貫 将人	6m21(-0.7)
三段跳	1	高田 樹	14m19(+0.9)
	2	木内 祥太	13m62(+0.3)
	3	大貫 将人	12m39(+0.7)
砲丸投	1	中浦 凌馬	11m22
	2	栗原 寿幸	10m32
	3	富岡 泰資	9m10
円盤投	1	中浦 凌馬	41m63
	2	栗原 寿幸	35m06
	3	富岡 泰資	28m71
ハンマー投	1	富岡 泰資	43m84
	2	川嶋 康祐	32m41
	3	中浦 凌馬	31m51

やり投	1	中浦 凌馬	71m93
	2	荒井 啓輔	58m99
	3	川嶋 康祐	54m93
十種競技	1	小沼 祐希	5489点
フルマラソン	1	小野 隼太	2:41:46
	2	柰家 弘樹	3:50:51
	3	樋口 卓哉	5:05:30

【女子】

種目	順位	氏名	記録
100m	1	後藤 晴菜	12.62(+1.9)
	2	小林 莉菜	12.82(+0.8)
	3	高橋 美緒	13.52(-0.6)
200m	1	後藤 晴菜	26.00(+1.1)
	2	大塚 美穂	27.16(+1.4)
	3	高橋 美緒	27.21(+1.1)
400m	1	小林 莉菜	58.20
	2	佐久間 彩	61.18
	3	笹崎 美公	61.59
800m	1	廣瀬 未来	2.26.24
	2	福島 清香	2.29.34
	3	大塚 千穂	2.31.47
1500m	1	廣瀬 未来	4.44.20
	2	福島 清香	4.50.46
	3	大塚 千穂	4.57.92
3000m	1	廣瀬 未来	10.21.67
	2	大塚 千穂	10.27.16
	3	金子 美鈴	10.48.69
5000m	1	廣瀬 未来	17.47.86
	2	大塚 千穂	18.20.66
	3	金子 美鈴	18.40.18
100mH	1	蛭名 史織	15.17(+1.5)
	2	高橋 美緒	15.33(-0.9)
	3	大塚 美穂	15.47(+1.7)
400mH	1	小林 莉菜	63.32
	2	佐久間 彩	64.20
	3	蛭名 史織	68.80
4×100mR	1	後藤・小林・大塚・蛭名	49.26
	2	高橋・小林・大塚・蛭名	49.74
	3	高橋・小林・佐久間・蛭名	50.30
4×400mR	1	後藤・小林・佐久間・高橋	3.56.78
	2	笹崎・小林・佐久間・高橋	3.59.78
	3	笹崎・後藤・小林・佐久間	3.59.87
走高跳	1	大塚 美穂	1m55
	2	芝崎 祐美	1m55
棒高跳	1	池田 風香	3m30
走幅跳	1	後藤 晴菜	5m79(+0.6)
	2	大塚 美穂	4m77(+1.0)
	3	池田 風香	4m61(+1.0)
三段跳	1	後藤 晴菜	11m10(+0.9)
	2	芝崎 祐美	10m83(+1.9)
砲丸投	1	神山 結衣	12m52
	2	大塚 美穂	10m36
	3	山形菜々子	10m00
円盤投	1	神山 結衣	44m94
	2	山形菜々子	39m31
ハンマー投	1	神山 結衣	34m07
	2	山形菜々子	21m44
やり投	1	島田 夏純	48m78
	2	古田 映布	43m58
	3	大塚 美穂	41m00
七種競技	1	大塚 美穂	4462点
フルマラソン	1	廣瀬 未来	3:34:30
	2	増田 梨沙	3:42:35
	3	蛭名 史織	5:16:12

対校戦順位

順位	男子			女子		
	総合	トラック	フィールド	総合	トラック	フィールド
第 66 回関東甲信越大学体育大会(男子総合 4 位・女子総合 2 位)						
1	筑波大	筑波大	筑波大	筑波大	都留文科大	筑波大
2	横浜国立大	千葉大	茨城大	茨城大	茨城大	茨城大
3	千葉大	横浜国立大	横浜国立大	都留文科大	筑波大	横浜国立大
第 66 回北関東五大学対校陸上競技大会(男子総合 2 位・女子総合 1 位)						
1	埼玉大	埼玉大	埼玉大	茨城大	茨城大	茨城大
2	茨城大	茨城大	茨城大	埼玉大	埼玉大	高崎経済大
3	群馬大	群馬大	群馬大	群馬大	宇都宮大	群馬大
第 32 回国公立 26 大学対校陸上競技大会(男子総合 6 位・女子総合 3 位)						
1	東京学芸大	東京学芸大	東京学芸大	福島大	福島大	東京学芸大
2	福島大	福島大	茨城大	東京学芸大	都留文科大	茨城大
3	東京工業大	東京工業大学	埼玉大	茨城大	横浜国立大	福島大
第 72 回三浜駅伝競走大会(一般男子の部【1 部】2 位・一般女子の部 2 位)						
1	石巻 RC			笠松走友会		
2	茨城大学 A			茨城大学		
3	流経大トライアスロン部			常磐なでしこ ♡		
第 18 回荒川河川敷対校駅伝競走大会(男子総合 12 位・女子総合 1 位)						
1	東京工業大			茨城大		
2	防衛大			上智大		
3	埼玉大			東京外国語大		
第 15 回国公立 26 大学対校駅伝競走大会(男子総合 9 位・女子総合 1 位)						
1	東京工業大			茨城大		
2	埼玉大			東京学芸大		
3	横浜国立大			千葉大		

Ⅷ. 部員名簿

学年	氏名	出身校/出身地	ブロック	学部/学科
院2	荒井 啓輔	竜ヶ崎一/茨城	投擲	教育/保健体育
4年	石堀 芙袖	水戸一/茨城	マネージャー	教育/心理
4年	蛭名 史織	常総学院/茨城	短距離	教育/健康
4年	大塚 美穂	宇都宮南/栃木	跳躍	教育/保健体育
4年	小野 隼太	盛岡第一/岩手	中長距離	理/物理
4年	後藤 晴菜	竜ヶ崎一/茨城	跳躍	教育/保健体育
4年	小林 次次郎	鹿沼/栃木	短距離	教育/スポーツ
4年	富岡 泰資	竹園/茨城	投擲	教育/スポーツ
4年	廣瀬 未来	牛久/茨城	中長距離	教育/健康
4年	樋口 卓哉	甲府西/山梨	中長距離	工/メディア通信
4年	古田 映布	下妻一/茨城	投擲	教育/保健体育
4年	増田 梨沙	仙台二華/宮城	中長距離	人文/社会
4年	柰家 弘樹	宇都宮東/栃木	短距離	工/機械工
3年	伊藤 俊亮	西宮北/兵庫	短距離	工/マテ工
3年	海野 優佳	緑岡/茨城	マネージャー	教育/養護教諭
3年	大貫 将人	竜ヶ崎一/茨城	跳躍	教育/スポーツ
3年	金子 美鈴	栃木女子/栃木	中長距離	教育/スポーツ
3年	神山 結衣	那須拓陽/栃木	投擲	教育/保健体育
3年	川嶋 康祐	日大三島/静岡	投擲	教育/健康
3年	川原 直之	杉戸/埼玉	短距離	教育/スポーツ
3年	木内 祥太	佐原/千葉	跳躍	工/機械工
3年	木内 智也	佐原/千葉	跳躍	工/機械工
3年	木村 優	緑岡/茨城	短距離	教育/理科
3年	小林 莉菜	水戸葵陵/茨城	短距離	教育/健康
3年	齋藤 海斗	土浦第三/茨城	短距離	人文/社会
3年	佐久間 彩	橘/福島	短距離	教育/スポーツ
3年	澁谷 惇徳	新発田/新潟	跳躍	人文/人コミ
3年	高橋 美緒	館林女子/群馬	短距離	教育/健康
3年	立林 和歩	掛川西/静岡	短距離	教育/スポーツ
3年	中浦 凌馬	水城/茨城	投擲	工/情報工
3年	半澤 裕太	熊谷/埼玉	中長距離	工/知能シス
3年	宮本 莉歩	下妻一/茨城	マネージャー	教育/理科
3年	本吉 広武	木更津/千葉	短距離	教育/国語
2年	伊藤 裕紀	会津/福島	中長距離	農/地球環境
2年	大内 一真	太田一/茨城	中長距離	工/生体分子
2年	大塚 千穂	水戸二/茨城	中長距離	教育/理科
2年	小沼 祐希	佐和/茨城	跳躍	人文/社会

学年	氏名	出身校/出身地	ブロック	学部/学科
2年	片見 恵都	水戸二/茨城	マネージャー	人文/社会
2年	小谷野 陽平	成田/千葉	跳躍	工/都市シス
2年	齊藤 鉄	竜ヶ崎一/茨城	中長距離	教育/健康
2年	芝崎 祐美	竹園/茨城	跳躍	教育/保健体育
2年	島田 夏純	会津学鳳/福島	投擲	教育/スポーツ
2年	中里 純也	國學院栃木/栃木	中長距離	教育/保健体育
2年	中島 康平	大湊/青森	中長距離	理/数学
2年	中島 佑介	春日部/埼玉	中長距離	人文/社会
2年	福島 清香	水戸二/茨城	中長距離	教育/健康
2年	堀邊 美咲	日立一/茨城	短距離	教育/スポーツ
2年	本田 峻	筑紫/福岡	中長距離	人文/人コミ
2年	山崎ひかる	藤代/茨城	中長距離	教育/健康
2年	山本麻友子	水戸一/茨城	中長距離	教育/保健体育
1年	池田 風香	印旛明誠/千葉	跳躍	教育/保体
1年	石崎 浩太郎	鉾田一/茨城	跳躍	理/理科
1年	稲葉 恵莉	並木中等/茨城	中長距離	教育/数学
1年	木村 香穂	下妻一/茨城	マネージャー	教育/理科
1年	木村 琴音	緑岡/茨城	短距離	教育/特別支援
1年	小久井健将	岡崎西/愛知	中長距離	工/都市シス
1年	小澤 舜	竹園/茨城	中長距離	教育/理科
1年	坂根 領斗	東邦/千葉	中長距離	工/機械
1年	笹崎 美公	宇都宮中央女子/栃木	短距離	教育/保体
1年	嶋崎 拓海	佐原/千葉	中長距離	人文/現社
1年	住田 光駿	安佐北/広島	短距離	工/知能
1年	高田 樹	成田/千葉	跳躍	工/都市シス
1年	谷口 寧那	倉吉東/鳥取	短距離	人文/法経
1年	豊田 真教	船橋東/千葉	短距離	農/地域
1年	中島 康太	豊田南/愛知	短距離	工/情報
1年	古川 裕隆	会津学鳳/福島	中長距離	教育/保体
1年	前川 凜太郎	緑岡/茨城	中長距離	教育/保体
1年	牧原 大信	国府/愛知	中長距離	工/情報
1年	山形菜々子	日立一/茨城	投擲	教育/保体

編集後記

今年も部誌を作成するにあたって、ご協力していただいた皆様に感謝申し上げます。皆様のおかげで、部誌を無事に発行することができました。2017年度を振り返りますと、関東学生陸上競技選手権大会の男子2部やり投において、中浦が自己ベスト記録、茨大記録、大会記録を更新して優勝、そして、荒川対校駅伝と国公立26大学対校駅伝大会において、女子対校チームがそれぞれの大会で優勝するなど数々の素晴らしい活躍がありました。また、その他の大会でも多くの部員が自己ベスト記録更新や入賞、優勝を果たしました。

2018年度は部の新しい方針として「スペシャリスト」を掲げ、一人一人が何かのスペシャリストとして個性を出し、個々人のモチベーションを上げていくことで、チーム全体のモチベーション、さらには競技力を向上させ、これから先の様々な大会で活躍していく所存です。(文責：中島佑介)

茨城大学陸上競技部に関するお問い合わせ

陸上競技部に関するご意見・ご質問は、ホームページ内の掲示板、もしくは、顧問の上地までよろしくお願いたします。
皆様からの情報をお待ちしております。

ホームページURL

<http://18.pro.tok2.com/~ibadaitandclub/>

顧問 上地 勝・渡邊 将司

〒310 - 8512 水戸市文京2-1-1

茨城大学教育学部

Tel: 029-228-8477 (研究室)

Fax: 029-228-8478 (体育事務室)

e-mail: mueji@mx.ibaraki.ac.jp

茨苑ACに関するお問い合わせ

〒310 - 0852 水戸市笠原町979-16

Tel: 029-244-1036

益子 雄行

茨城大学陸上競技部部誌「Perspiration」第12号

平成30年 3月23日発行

編集責任者

齋藤海斗・川原直之

発行者 茨城大学陸上競技部